



2024年度 経済学部

入門のしおり

経済学部入門のしおり
24



The Economic Society of Konan University

甲南大学 経済学会

甲南大学経済学会

目次

まえがき	1
I 経済学部へようこそ	3
各経済学部教員からのメッセージ(五十音順)	5
II 経済学部の先生方に質問	27
各経済学部教員にアンケート(五十音順)	28
III 先輩からの学習アドバイス	71
IV 新入生へ卒業生からのメッセージ	77
「新入生のみなさんへ」宇野 綾華	79
「新入生のみなさんへ Hitch your wagon to a star」 小西 祐太郎	80
V 経済学会について	81
VI 甲南大学経済学会会則	85
総会規程・評議員会規程	88
卒業生会員細則	89

ま え が き

入学生のみなさん、甲南大学経済学部へのご入学おめでとうございます。みなさんは、本学に入学し、経済学部生となると同時に、規約によって、《甲南大学経済学会》の会員となることになっています。みなさんが手にしたこの小冊子は、新入生を対象として作られた経済学部への案内書です。

この「入門のしおり」は、みなさんが経済学を学んでいく場を構成する甲南大学経済学部の教員、学生、そして、卒業生の方々の声で「経済学とその周辺を語る」という内容になっています。新入生のみなさんは大学に入学したばかりでまだ経済学部のことがよくわからないかもしれません。ぜひこの冊子を読んで、今後の学びの参考にしていただければと思います。

『Ⅰ 経済学部へようこそ』では、「2024年に大学生になる人へのメッセージ」をテーマとし、経済学部の先生方から新入生の皆さんへ向けたメッセージをいただいています。先生方の豊かな経験から紡がれた言葉が、皆さんのこれから始まる大学生活の糧になれば幸いです。

『Ⅱ 経済学部の先生方に質問』では、「新入生が大学生活をより良いものにできるように」をテーマとした質問を先生方に答えていただいています。このページを見ることで、皆さん大学生活や経済学を学ぶことに対する恐れや不安が少しでも取り除かれることを願っています。

『Ⅲ 先輩からの学習アドバイス』では、1年生の必修科目である「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」の学習に関する在学中の学生からのアドバイスを掲載しています。

『Ⅳ 卒業生からのメッセージ』では、甲南大学経済学部を昨年度に卒業された方々からメッセージをいただいています。みなさんの先輩方はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

『Ⅴ 経済学会について』では、「甲南大学経済学会」という組織について紹介しています。甲南大学経済学会とは、経済学部の教員・学生・卒業生が対等の権利を持って運営している自治組織です。新入生のみなさんの中には、「経済学会という組織のことがよくわからない」という人が多いかもしれません。そこで、「経済学会ってなんだろう？」というみなさんの疑問に対して、経済学会の具体的な活動やみなさんの交流の場である「経済コモンルーム」についても紹介しています。

はじめから読んでいく、好きなところだけ読むなど、利用方法はみなさんの自由です。この小冊子がみなさんの大学生活の手助けになれば幸いです。

2024年4月

甲南大学経済学会
評議員編集委員一同

経済学会へようこそ！

足立 泰美先生	5	寺尾 建先生	16
石川 路子先生	6	中川 真太郎先生	17
石田 功先生	7	林 健太先生	18
永廣 顕先生	8	林 亮輔先生	19
岡田 元浩先生	9	平井 健介先生	20
荻巣 嘉高先生	10	宮川 敏治先生	21
奥田 敬先生	11	宮本 舞先生	22
小佐野 広先生	12	村澤 康友先生	23
鎰谷 宏一先生	13	森 剛志先生	24
高 龍秀先生	14	森本 裕先生	25
小山 直樹先生	15		

大学生になる人へのメッセージ

足立 泰美

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さん、そして、成人としてのスタートを切っている皆さん、4年間の大学生活、期待が高まる思いで、いっぱいかと思えます。今までは、学校から決められた時間割りをこなす毎日だったのではないのでしょうか。1時間目は数学、2時間目は国語といった既に時間割が組まれた高校までの生活。しかし大学生活は違います。スケジュールは真っ白です。その白紙のスケジュールに、自分だけの予定表を創り出していきます。

まず受講科目の登録が最初にあります。学士を取得するために、どの科目を、何単位履修しなくてはいけないのか。1年目には何を修めておかねばならないのか、2年目にはどの科目を選択しておくのが望ましいのか、3年目は1年目と2年目で培われた知識と経験をどう発展させていったらいいのか。シラバスを読み進めながら大学の所定の規定を理解し、興味のある科目、勉強してみたい科目もしくは単位を選択し、自分だけの唯一の時間割を作成します。その時間割が、将来の皆さんの人生に繋がります。そこには自由という名のもとで、自分の選択への責任という言葉が、背後にあります。

一日、一週間そして一月、自分が決めたスケジュールで生活を繰り返し送り、大学生活から社会人へと変わりゆくとき、この時間の積み重ねが、おもいおもいの力となり、自分が作ったスケジュールの責任をおいます。そこには一日24時間という制約された条件のなかで、自分の拘り定規で何に時間を投入するかを選択し、一定の成果を見いだそうとします。つまり、自分の選択が大学生活4年間の学業の蓄積と多様な見識となり、将来への道に繋がる原動力となります。

どうぞ新入生の皆さん、皆さん自身が自分の力で未来ある人生を築いていくことを切に願っています。

AI 時代に必要な力とは

石川 路子

ご入学おめでとうございます。この4月から始まる新たなステージ。皆さんの中には不安な気持ちを抱えている方もいるかもしれません。ただ、新たなスタートは、皆さんの可能性を大いに引き出すチャンスです。ぜひ何事にも怖がらずに挑戦してみてくださいと思います。

近年、私たちの社会は過去に例を見ないくらいのスピードで変化し続けています。その中でも AI (Artificial Intelligence) は人間の 10 万倍の早さで発達していると言われていています。AI とは人工知能を指し、この技術がさまざまな分野で応用されていく時代のことを AI 時代と呼びます。皆さんが生き抜くこの AI 時代にはどんな資質が求められるのでしょうか。

インターネットで「AI 時代に必要な力」と検索すると「チャレンジ精神」「主体性」、「発想力・創造性」、「対人関係能力」、「課題解決能力」などが出てきます。これからの時代は、人間は AI が難しいタスクを担うという点でも人間が優位性を持つ（と考えられている）これらの資質が重要であるとされていますが、私は改めて皆さんに「自分の頭で判断できる力」を身につけることをオススメしたいと思います。

これから皆さんは、課外活動の選択や就職活動時など、多くの場面で自分自身の意志が問われる場面に直面します。もし自身の将来の選択に迷い AI にアドバイスを受けることができたとしても、最後は自分にとってより良い選択肢は何かについて自身で判断できなければ、後に後悔や不満が残ってしまうかもしれません。AI に自分を支配されてしまわないようにするためにも、自身の判断力を信じる強さが求められるのです。

アメリカで著名な起業家イーロン・マスク氏が「たぶん、いずれ人類は絶滅する。おそらくはテクノロジーの進化のせいだ」と述べているように、多くの専門家や研究者が「AI による人類滅亡」の危機に警鐘を鳴らしています。AI は私たちの生活を便利にする一方、私たちが自身の頭で考えることを辞めてしまえば、もしかしたら AI に支配される時代もそう遠くないのかもしれません。

自分の判断力を高めるためには、単に知識を詰め込むだけではなく、それを実社会でどう活かすのかを考えるなど、応用力を養うことが重要になります。応用力は新たなことにチャレンジしてみることで身につけることができます。これから始まる大学生活は、皆さんにとって判断力を養うチャンスを大いに与えてくれます。ぜひみなさんがこれから楽しく充実した大学生活を過ごされ、これからの社会に貢献できる人材となりそれぞれの夢を実現することを願っています。

大学生になる皆さんへ

石田 功

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

早速、深刻な話題で恐縮ですが、2024年というこの瞬間は、AI革命による社会激変の前夜なのかもしれません。いつの時代も「今は激動の時代」と人は口にします。ただ、今回だけはいつもと事情が違うかもしれません。多くの職種において、習得に長年かかる職業的スキルが、時間を経て徐々にではなく、一夜にしてAIに置き換えられ、雇用が消失してしまうのではないかと懸念を多くの方が共有しています。10～20年先に起り得ることとしては、これまでも予想され、議論されてきたことですが、皆さんもご存知のChatGPT等の生成AI登場が、専門家のみならず一般人の認識も激変させました。私自身もChatGPTを使ってみて大きな衝撃を受けました。昨年は、世界的に著名なAI研究者・社会学者・企業家等が、一部のAI開発を一時的に凍結させ、AIの負の影響のリスク抑制方法を社会全体で検討するよう訴える公開書簡に署名し話題になりました。大袈裟な例えになりますが、今は巨大隕石が地球衝突コースに突然出現したような状況かもしれません。幸い、皆さんは社会人になるまで4年間の時間があります。差し迫るインパクトに備え、皆さんは何をすればよいのか？具体的なアドバイスは難しいですが、社会でこれまで以上に重要性が増すかもしれない人間的交流力や自分の頭で考える力を大学生活で磨いて欲しいと願います。また、社会変化の動向は常に注視しておいて下さい。

私が担当する授業で既に起っているAIのポジティブな影響を一つ紹介すると、ゼミ生の研究のレベルが過去数年で驚くほど高まったことがあげられます。経済データの分析には統計手法の習得のみならずプログラミングのスキルも要求されますが、ChatGPT等を支援ツールとして使う事により、これまで学部生には難易度が高かった分析がこなせるようになってきています。また、これは生成AIが容易に使えるようになるより少し前からのことですが、自動翻訳アプリの精度向上が目覚ましく、英語が特に得意ではない学生も翻訳ツールを利用し海外文献を大量に読みこなせるようになり、情報取得能力が劇的に向上しています。

大学で経済を学ぶ人たちへのメッセージ

永廣 顕

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんはこれから4年間、経済を学ぶこととなりますが、そもそも経済とはいったい何なのでしょう。

私たち人間（ヒト）は、生きていくために必要な財やサービス（モノ）をつくらなければなりません。現代においては、家計（個人）が企業（会社）に労働や土地を提供し、企業がモノを生産しています。家計は企業から受け取った賃金など（カネ）でモノを購入し、それを消費して生きています。この状況がうまく続けばよいのですが、残念なことに、いつもうまくいくとは限りません。そこで政府（国や地方）が登場し、混乱や問題を解決しようとして（この政府の活動を財政と言います）。このように、経済とは、私たち人間が生きていくための活動であり、それをめぐる家計・企業・政府の相互関係にもとづいたヒト・モノ・カネの動きなのです。すなわち、私たち人間の生活の営みそのものなのです。

したがって、「経済を学ぶ」ということは、まずは私たち人間の生活の営みを「目（眼）でしっかりと見る、確認する」ことであり、それは私たち自身の「生き方を考える」ことにつながり、「生き方を考える」ためには経済について幅広くしっかりと勉強することが必要となってくるのです。そこでは、高校までの勉強のように、正解とされていることをただ暗記し、調べるだけの学習だけに終わってしまうのではなく、自身が置かれている現在の状況と自身が進もうとする将来の目標に即して、正解とされていることが本当に正しいのか、自身にとって何が正解であるのかを、自分の頭で考え抜いていくことがとても大事になるのです。

そのためには、経済について「体系的に、専門的に勉強する」ことが必要になります。しかし、その機会を大学以外の場で得ることは難しいでしょう。自分の興味や問題関心から思う存分勉強ができるのは大学での4年間だけなのです。しかもその4年間はあっという間に過ぎてしまうのです。

今まさに大学生活のスタートラインに立ったみなさんが、これから有意義な4年間を過ごせることを心から願っています。

お金なるもの

岡田元浩

4年間にわたる経済学部生としての学びを通じて、みなさんにまず知ってもらいたいことは、世の中や私たち自身の生活においてお金というものがもつ重みです。私の知人のひとは、「経済学部は金儲けの仕方を学ぶところ。経済学部に入っても金儲けの仕方を学べないようなら、意味が無い」と言いました。みなさんが大学での授業を受ければ、経済学部や経済学の実態がこうした見方とかけ離れていることが、ほどなく分かるでしょう。しかし、私の知人の上記のような考えは、案外世間の多くの人々が抱いているものではないかと思われまます。それはまた、お金というものがこの世の中でいかに絶大な威力を有しているかの現れであるともいえます。もちろんみなさんも、これまでの人生の中で、お金のもつ重みに気づいてきたことでしょう。そしてこれからは、経済学を通じ、改めてこの重たさをより深く認識してほしいと思います。

経済学部での学びからは是非ともみなさんに知ってほしい、もうひとつのことは、お金にひれ伏さない品性の大切さです。私が尊敬して止まない、近代日本を代表する大作家である夏目漱石は、経済学者以上に鋭く、金力の乱用がもたらす破壊的作用を強調しました。「金銭というものは・・・人間の精神を買う手段に使用出来るのだから恐ろしいではありませんか」（「私の個人主義」より）と漱石は言いましたが、実際、お金次第で、家族関係や友情にさえも容易に亀裂が生じてしまい、果ては世界が闘争に満ちた場と化してしまうのです。お金がすべてでない、これは真理ですが、それを私たちの実生活において全うするのは、決して容易なことではありません。それほどお金の力は大きいのです。そしてこの魔性に圧倒されないためには、私たち自身の品性を磨き上げる不断の努力が必要です。甲南大学は「人物教育」を謳っていますが、この品性の涵養はその最たるものであると、私は考えます。

新入生のみなさんへ

萩巢 嘉高

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活、そしてそれ以降の生活を楽しむために、何をすればよいでしょうか。人それぞれ答えは違うと思いますが、ここでは私が個人的に重要視しているものを紹介したいと思います。

1. 人とのつながりを大切にしよう

みなさんがこの甲南大学経済学部に入學してきた背景には、きっとみなさんそれぞれの理由があるのかなと思います。就職のために学位が欲しい、経済学を学んでみたい、部活動やサークル活動で活躍したい、ひとまず進学してこの先の進路をじっくり考えたいなど、おそらくもっといろいろな細かな理由も人それぞれあるかと思いますが。これらの背景は十人十色とはいえ、同じ門戸を叩いた者たち同士、ここで出会う人々とのつながりをぜひ大切にしましょう。世間は案外狭いものです。

2. 人よりちょっと得意な技能を手に入れよう

これは、どちらかといえば大学生活中よりも、社会人になってから大切になることです。ずば抜けて何かができる必要はありません。平均と比べて、自分は「これは人より得意だな」と思えることがあれば、素晴らしいです。別に1番にならなくてもいいです。なんでだろうと思う人は「リカードの比較優位」について調べてみてくださいね。ちなみに、私が個人的におススメする技能を3つほど挙げるとすれば、「プログラミングスキル」「文章作成能力」「粘り強さ」でしょうか。

3. 教養を手に入れよう

本を読むなり映画を見るなりするのはとても大切です。教養（あるいは知識）があれば、楽しめる物事がとても多くなります。ぜひいろいろなことを学んで、修めましょう。

「講義の単価」？

奥田 敬

ご入学おめでとうございます。

早速ですが、大学生活の始まりにあたって気に留めておいていただきたいクイズを一つ。

【設問】

大学における1コマ90分の講義の(学生にとっての)単価を算定せよ。
ただし、単純化のため、4年間の学費総額は教科書代も含めて400万円とし、その間の機会費用(生活費やアルバイト収入など)は度外視する。

【解法1】全く無駄なく、最小費用最大便益で卒業を目指す。

卒業所要単位数は128単位、1単位につき $4,000,000 \div 128 = 31,250$ (円)
半期15週で2単位なので、 $31,250 \times 2 \div 15 = 4,166.66\dots$

答え 約4,200円

【解法2】折角だから(単位取得とは無関係に)聴講・質問しまくる。

1週間30コマ、通年で $30 \times 15 \times 2 = 900$ (コマ)だから、
 $4,000,000 \div (900 \times 4) = 1,111.11\dots$

答え 約1,100円

【解法3】4年分の在籍料と割り切り、出席も留年も気にしない。

1日あたりの在籍料は、 $4,000,000 \div (365 \times 4) = 2,739.72\dots$ (円)
90分あたりに換算すると、 $4,000,000 \div (365 \times 4) \div 24 \times 1.5 = 171.23\dots$

答え 約170円

実は、これは1990年に小生が本学に着任した直後に熱心な新入生から突き付けられた難問です。経済学部生なら一応【解法1】が正解か？

でも、その時の質問者の本意は【解法2】と見受けました。【解法3】は(バブル期の名残めいて)時代遅れでしょう。

もっとエレガントな別解があればお知らせください。

敵対的企業買収について

小佐野 広

最近の日本の新聞やテレビの経済関係のニュースをみていると、時おり、敵対的企業買収（ある企業の経営権をその企業の経営陣の了解なく買い取ってしまう事、もっとひらたく言えば、ある企業を乗っ取って既存の経営陣を交代刷新すること）という言葉を目にします。しかも、敵対的企業買収が成功したというニュースも目にします。実は、これは数年前以前の日本企業では、考えられなかったことなのです。

欧米では、敵対的企業買収というのはその頻度に浮き沈みはありますが、必ずしもまれなことではありません。企業の株価がその企業の本来の価値よりもかなり低い時には、よく起こることです。とくに、買収される側の企業が本来の価値を達成して株価が高くなることは経済にとっていいことなので、敵対的企業買収は経済の効率性を達成するための重要な手段と考えられます。

これに対して、戦後の日本では、メインバンク制・株式持ち合いのような日本的な金融システムと終身雇用制・企業別労働組合のような日本的な労働システムが補完しあって和をもって貴しとする企業文化が支配し、敵対的企業買収という現象は皆無とっていい状態でした（ただし、1995年にドイツ製薬大手ベーリンガーインゲルハイムがエスエス製薬に敵対的企業買収を仕掛けて成功した例があります）。しかし、1990年のバブル崩壊後、不良債権の増加とともに日本的なシステムが変容していくに伴い、とくに2006年になって製紙業界トップの王子製紙が当時業界6位だった北越製紙に対して敵対的企業買収を仕掛けました。もっとも、この王子製紙の試みは結局失敗しました。その後、敵対的企業買収を仕掛ける企業はありませんでした。ところが、2019年になって、伊藤忠商事 vs デサント、エイチ・アイ・エス vs ユニゾホールディングス、コクヨ vs ペンてる（最初に名前のある企業が敵対企業買収を仕掛けている企業）等といった有名企業が敵対的企業買収を仕掛ける例が相次ぎました。とくに、伊藤忠商事の場合は敵対的企業買収に成功したという点で、これまでの日本のコーポレート・ガバナンスとは明らかに違った状況が生まれているようです。

経済学部に入學した皆さんへ

鑑谷宏一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからどのような大学生活が待ち受けているのか、期待に胸を膨らませていることだと思います。

さて、経済学部に入學した皆さんは、大学生活においてどんなことを学ぼうとしていますか？もしかすると、大学では経済学の△△を勉強して、卒業したら〇〇という仕事に就きたいというキャリア・デザインをすでに持っている方もいるかもしれません。それはそれでとても良いことだと思いますし、目標に向かって励んでほしいと思います。ただ、これから何を学ぶかについては、もう少し気を楽しんでも良いかもしれません。

そもそも、皆さんは、経済学がどのような学問なのか、経済学にはどのような分野があるのか、ということをよく分かっていませんよね。他の学問についても同様だと思います。また、世の中にはどのような仕事があって、そこでどんなことが求められるのかということも詳しくは知りませんよね。さらに、誰にも分からないことですが、これから社会がどのように変化し、どんな仕事が無くなったり生まれたりするのかというようなことも分かりませんよね。そのような状況においては、「面白そうだから」、もしくは「何だか気になるから」といった理由で何かを積極的に学んでみようとする 것도大切ではないかと思ひます。もちろん、学問以外においても自分のアンテナに引かかるものごとを積極的にやってみることも大切だと思います。

大学の4年間という時間は、自由が利く時間です。このような時間は社会に出てからはまず手にすることはできません。ただ、大学の4年間は長いようで、あっという間に過ぎてしまいます。皆さんには、この貴重な時間を使って、様々なことに挑戦してほしいと思ひます。そして、卒業するとき、その時の自分と入學したての現在の自分を比べてみてください。どんな風に変化しているでしょうか？もしかすると、卒業する時には、現在想像できる自分ではない自分になっているかもしれません。

皆さんが充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学生になる皆さんへ

高 龍 秀

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを心より歓迎します。大学生になってみなさんは多くの夢と希望を持っていることと思います。大学に入ってその夢に一步ずつ近づいてほしいと思います。

大学に入って、まず、世の中で起こっていることに関心を持って下さい。2022年ロシアがウクライナに侵攻し始まった戦争は世界経済に深刻な影響を与えています。この戦争と為替変動による物価上昇など日本経済は多くの課題を抱えています。どのような経済政策を行えば日本がより幸せな社会になることができるのでしょうか。みなさんが就職活動をする頃には日本社会はより良い状況になっているのでしょうか。新型コロナウイルス感染症は私たちの社会に大きな衝撃を与えました。この新しい感染症に対して私たちはどう対応していけばいいのでしょうか。世の中を見渡せば、このような複雑な問題がいっぱいあります。それは仕方ありません。私たちの住んでいる現代社会がとても複雑だからです。

みなさんが入った経済学部ではこの複雑な現代社会について、入門的な課題から一步ずつ学んでいきます。みなさんの勉強の対象となる現代の経済は複雑ですから、「答えを簡単に求めない」ことが大切です。大学受験までは、「1つの決められた答えにいかにか早くたどり着くか」という勉強スタイルだったと思います。例えば社会系の科目では「覚える」科目が多かったと思います。しかし最初に述べた現代経済の問題では、答えは決まっていないものもあります。また、答えが1つでないものもあります。ですから大学では、基本的な事実を「覚える勉強」とともに、その知識を武器により複雑な現象を論理的に考えていく勉強をしなければなりません。そのような勉強を2年生以降のゼミなどの科目で行うことになります。そこでは答えを簡単に「見つける」勉強ではなく、これまで学んだ知識をもとに時間をかけて「より深く考える」勉強が求められています。

みなさんの努力次第で「深く考える力」が付き、大学卒業までの4年間で大きく視野が広がることと思います。そのことで、「いい就職ができる力」という次元だけでなく「この社会を生きていく力」をつけることができるはずです。大きな可能性がある未来に向かって、ぜひ頑張ってください。

大学生になる人へのメッセージ

小山 直樹

経済学という学問は、

理論 (theory)、政策 (policy)、歴史 (history)

の三本柱から成り立っています。私が担当する統計入門は、選択必修科目です。統計学は、経済学において経済現象の実態を数量的に把握するための方法として、昔から重視されてきました。経済学の理論・政策・歴史のどの分野においても、統計データを通して経済の実態を把握することが「経済現象を理解する」基礎になっています。ですから、経済学を学ぶ学生諸君は、最低限、統計学の基礎を履修する必要があります。

ただし、私たち教える側（供給サイド）が用意したお仕着せメニュー通りに経済学を学ぶのも結構ですが、学生の側が、何をどう学んでいくかの選択権をもっていることをお忘れなく。つまり、学生のみなさんが、「自分はなぜ経済学を学ぶのか」、「実際に学んだ甲斐があったか」を何度でも考えて、『自分にとっての経済学を学ぶ意義』を 随時確認することが一番大切です。そして、卒業するときに、「自分が学んだ経済学はこういうものだ」と振り返ることができれば上出来と言えるでしょう。

最後に、せっかく甲南大学経済学部に入學したのですから、キャンパスライフを十分に楽しんでください。

2024年に大学生となったあなたへ

寺尾 建

この先、もしも勉強することに意義を見出せないときがあったならば、以下の文章を読み返してみてください。太宰治が1942年に発表した「正義と微笑」という小説の一節です。

学校で、金子先生の無内容なお話をぼんやり聞いているうちに、僕は、去年わかれた黒田先生が、やたら無性に恋しくなった。焦げつくように、したわしくなった。あの先生には、たしかになにかあった。だいいち、利巧だった。男らしく、きびきびしていた。中学校全体の尊敬の的だったと言ってもいいだろう。或る英語の時間に、先生は、リア王の章を静かに訳し終えて、それから、だし抜けに言い出した。がらりと語調も変っていた。噛んで吐き出すような語調とは、あんなのを言うのだろうか。とに角、ぶっきら棒な口調だった。それも、急に、なんの予告もなしに言い出したのだから僕たちは、どきんとした。

「もう君たちとは逢えねえかも知れないけど、お互いに、これから、うんと勉強しよう。勉強というものは、いいものだ。代数や幾何の勉強が、学校を卒業してしまえば、もう何の役にも立たないものだと思っている人もあるようだが、大間違いだ。植物でも、動物でも、物理でも化学でも、時間のゆるす限り勉強して置かなければならん。日常生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。何も自分の知識を誇る必要はない。勉強して、それから、けろりと忘れてもいいんだ。覚えるということが大事なのではなくて、大事なのは、カルチベートされるということなんだ。カルチャーというのは、公式や単語をたくさん暗記している事でなくて、心を広く持つという事なんだ。つまり、愛するという事を知る事だ。学生時代に不勉強だった人は、社会に出てからも、かならずむごいエゴイストだ。学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いのだ。勉強しなければいかん。そうして、その学問を、生活に無理に直接に役立てようとあせってはいかん。ゆつたりと、真にカルチベートされた人間になれ！これだけだ、俺の言いたいのは。君たちとは、もうこの教室で一緒に勉強は出来ないね。けれども、君たちの名前は一生わすれないで覚えているぞ。君たちも、たまには俺の事を思い出してくれよ。あっけないお別れだけど、男と男だ。あっさり行こう。最後に、君たちの御健康を祈ります。」すこし青い顔をして、ちっとも笑わず、先生のほうから僕たちにお辞儀をした。

以上が、いまから82年前に示された、「なぜ人生に勉強は必要であるのか？」という問いに対する完璧な回答です。

ドーナツの穴はお好きですか？

中川真太郎

入学おめでとうございます。ところで、あなたはドーナツの穴はお好きですか？

私は好きです。ドーナツに穴がなかったら、ボール状のサターアンドギーのような食べ物になります。もちろん、沖縄伝統のお菓子であるサターアンドギーは、素朴な味わいでとても美味しいものです。しかし、ドーナツには、サクッと噛み切れて、ホロッと碎け、口の中に香ばしくて甘い味わいが広がるという特徴があります。これはサターアンドギーにはありません。

なぜなら、ドーナツには穴があり、サターアンドギーには穴がないからです。ドーナツは真ん中に穴があるため、球状のサターアンドギーよりも表面積が広く、高温の油に接する面積が広がります。そのため、カリッとした部分が多くなって、食感が良くなるのです。ドーナツの穴には食べるころはありますが、穴があるからこそ、独特の食感やおいしさが生み出されているのです。

今から二十数年前、私も、大学の経済学部の新入生でした。たくさんの書類をもらった中に、本誌のような、経済学部の先生方を紹介している冊子があったように記憶しています。しかし今では、その冊子に何が書いてあったのか全く記憶しておりません。また、その冊子が何かの役に立ったという記憶もありません。学部の先生のごことは、自分で授業に出るか、先輩の話聞いて知ったように記憶しています。

我々は今でも、このような冊子を作って配布しています。私自身の経験からすれば、この冊子は学生には、ほとんど読まれず、読んだ学生も内容をすぐに忘れてしまって、全く役に立たないものです。「毎年、冊子を出しているから今年も出す」という悪しき前例主義、資源と労力の無駄遣いと言うことになります。

しかし、一人の経験だけで物事を判断するのは早計です。もしかしたら、ドーナツの穴のように何か大切な役割があるのかもしれない。

あなたはどう思いますか？

新入生の皆さんへ

林 健太

このたびは甲南大学経済学部へのご入学、誠におめでとうございます。

さて、皆さんは今、激動の時代を生きているという実感をどれ程お持ちでしょうか。2023年を境に、世界は一つバージョンアップを果たしました。具体的には、ChatGPTに代表される生成AI（人工知能）が登場し、これまで人間の行ってきた作業を代替するようになったのです。

このように、新しい技術が登場し普及すると、それに合わせて私たちの考え方も変わっていかざるを得ません。これまで是とされてきた「時間を正確に守る」、「多くの知識を身につける」、「的確に指示をこなす」といったことは、まさにAIの得意分野であり、そう遠くないうちに、人間がやる必要性はなくなっていくでしょう。

ではそのような社会において、私たちはどのように生きていけば良いのでしょうか。人間にしかできないことは何か、それは「効率の悪い（一見、無駄と思える）ことを楽しむ」ことだと思います。

大学で送るリアルな生活を想像してみてください。時間割を組む、学内で友人を作る、クラブ・サークル活動を選ぶ、朝早く起きて授業に出席する、所属するゼミを選ぶ、レポート課題をこなす、定期試験を受ける、恋愛する、留学する、趣味に没頭する、就職活動を行う等々・・・、どれもこれも、時間や労力（＝コスト）がかかるものばかりですね。実にタイムパフォーマンスが悪い。

だが、それがいい！

どれだけ張り合おうとも、AIの得意分野で人間はAIに勝てません。ならいっそ、時間のかかる作業はAIに任せ、浮いた時間を何にどう使うかを在学中に考えてみませんか？それこそが究極の経済学なのですから、といった四方山話を、皆さんと大学でできるのを楽しみにしています。

「将来のために」を意識しよう

林 亮輔

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学で送る4年間は、皆さんにとって（おそらく）人生最後の学生生活となります。サークル活動、部活動、アルバイト、留学など、比較的自由度の高い大学での時間をどのように活用するか、様々な夢を膨らませていることでしょう。大学での4年間は、皆さんが考えている以上にあつという間に過ぎていきますので、少しでも気になることがあればチャレンジすることを恐れず、大学生活を充実したものにしてほしいと思います。

入学したばかりの皆さんにとっては気の早い話かもしれませんが、学生時代を助走期間に例えるなら、4年後には皆さんは自分自身の力で社会に飛び立っていかねばなりません。社会では学生時代に培った様々な能力が試されますが、学生時代にどのような能力を身につける必要があるのでしょうか？

経済産業省が企業の人事担当者に対して行った調査によると、多くの人事担当者が「主体性」「課題発見力」「コミュニケーション能力」といった能力が今の学生に欠けていると答えたそうです。これらの能力を、経済産業省は「社会人基礎力」と呼んでいます。この社会人基礎力を身につけることが学生である皆さんには求められているのです。

大学は専門性の高い知識を学ぶ場であるとともに、それらの知識を得るプロセスを通じて社会人基礎力を高められる工夫が散りばめられています。しかしながら、大学に在籍しさえすればこれらの能力を高められるわけではありません。腕や足の筋力をつけるにはトレーニングが必要なように、脳の力を高める際もまたトレーニングが必要なのです。

したがって、皆さんには学業にも積極的に取り組んで欲しいと思います。サークル活動やアルバイトを通じて高められる能力と学業を通じて高められる能力は異なることから、「将来のためにどの能力を高めなければならないか」を常に自問自答し、大学を卒業する際には確かな成長が感じられるよう、充実した大学生活を過ごされることを願っています。

大学と保育園

平井健介

私はここ数年、一年生の必修科目『経済入門Ⅱ』において、船曳建夫「大学で学ぶということ」（小林康夫・船曳建夫編『新・知の技法』）という文章を紹介してきました。「大学で学ぶ」ことが「学校で教わる」とことと何が違うのかを解説した文章です。『経済入門Ⅱ』は秋学期に開講されるので、ここで内容のほんの一部を少し紹介します。

船曳は大学の使い方について、次のように説明しています。

大学は、学校に入る前の保育所に似ています。教え込まれるような勉強はなく、粘土細工や砂遊び、絵本を読むことなど、自分でしたい「お遊戯」をすることになっていて、保育さんはあまり口出しをしない、という。大学では基礎的な勉強は押さえておかなければなりません、この保育所にも似た行動の自由度と環境を十分に生かせば、就職準備でもなく、休暇でもなく、大学にふさわしい学びと遊びをすることが出来るのです。

大学が高校よりも難しいことを教わる場だというのは、少し正しく、大いに間違っています。あなたがしなければならないことは、経済についての自分なりのお遊戯（したいこと）を一生懸命することなのです。授業やゼミはどのようなお遊戯があるのか、いまあなたがしているお遊戯をもっと面白くするにはどうすれば良いかを見つける場に過ぎません。極端に言えば、お遊戯をしていれば授業に出席しなくてもその人は学生であり、お遊戯をしていなければ授業でどれだけ良い成績評価を得てもその人は学生ではない（生徒である）、ということです。

また、友達付き合いにおいても、保育園は重要なヒントをくれます。保育園に子供を迎えに行った時のことです。子供たちを眺めていると、急に違う遊びを始める子がいることに気づきました（たとえばみんなでトランプをしていたのに、急に一人でブロック遊びをする）。人に尋ねたところ、「それは一緒に遊んでいるのではなくて、たまたま同じ遊びをしているだけだよ。」と教わりました。皆さんも個人を基盤としない「世間的な友達付き合いではなく、個人を基盤とする「社会的な友達付き合いをして下さい。

「入学おめでとう」と言いたいところですが、それはあなたが学生であったかが明らかとなる卒業の時に、「卒業おめでとう」と共に言いますね。

「ゼミでの研究」のすすめ

宮川 敏治

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。まずは、あまり堅苦しく考えず、4年間、何でも良いので「一生懸命になれるもの」を見つけてください。その「一生懸命になれるもの」はこの先、必ずみなさんの人生を助けてくれます。

この(大学時代に)「一生懸命になれるもの」として、少人数の「ゼミ」での「研究」をおすすめしたいと思います。例えば、私のゼミでは、5人程度のグループで、それぞれに研究テーマを決めて、1年近くをかけてそのテーマを研究しています。具体的には、独自の仮説を立て、アンケートや実験を通じてデータを収集し、その研究成果をプレゼン大会で研究成果を発表する、という手順で行われます。

このグループ研究を通じて、

1. みんなで一つの目標に向かって頑張る楽しさを知る
2. 互いの意見を尊重しながら、議論するやり方を知る
3. 自分たちにしかできない研究成果を上げることで学問の楽しさを知る
4. データを科学的(統計的)手法で分析できるようになる
5. 視覚にうったえる資料(パワーポイント)を作成できるようになる
6. 人前で堂々とプレゼンテーションができるようになる

といった(就職活動だけでなく)実際に社会にでてからも役に立つ「技術」や「技能」を身につけることができます。大学時代に全力を傾けてやってみる価値は十分にあります。

「一生懸命になれるもの」は、勉強以外のものでも良いのですが、私が経済学の専門家および教員としてお手伝いできるのは「ゼミでの研究」です。「ゼミでの研究」は、高校までの受験勉強では得られない大学ならではの勉強の醍醐味(いわゆる学問することの醍醐味)を味わせてくれること間違いなしです。

良かったら自分が興味を持った研究ができる先生の研究室のドアをノックしてみてください。

新入生の皆さんへのアドバイス

宮本 舞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。僣越ながら、皆さんへ大学生活を送る上での3つのアドバイスをお伝えしたいと思います。

(1) 高校までと大学での学びには大きな違いがある。

高校までの勉強では、テストや入試でよい点数をとることが大きな目的の1つであったかもしれませんが、しかし、大学では学ぶ「力」を身につけることが重要です。例えば、自分で問題を発見する「観察力」や、その問題を解決するための「考察力」や「行動力」。これらの力を身につけるためには、時には答えのない問題に直面する場合があります。この違いに最初は苦戦するかもしれませんが、その違いを楽しんでください。

(2) 社会人には時間がない。

私自身も働き出して痛感しましたが、皆さんの想像より働き始めると自分の自由になる時間が少なくなります。コロナ禍も終わり、ぜひ国内外へ旅行に行ったり、留学にチャレンジしたりと貴重なこの4年間を実り多いものにしてください。また、すぐに身近でできることでは本をたくさん読むことをお勧めします。国内外、新旧様々な本を読むことはきっと今後の財産になると思います。

(3) いろいろな人との交流を。

大学には、学生も教員もいろいろな人がいます。また、行動範囲が広がることによって、学外で出会う人の幅も広がることでしょう。お手本にしたい人が見つければ、その人から多くのよい面を吸収してください。「人のふり見て我がふり直せ」とも言いますが、よくない手本が見つかったならばそこから学ぶことはあるかもしれません。また、いろいろなタイプの人との交流の仕方も学んでください。

皆さんの学生生活が充実したものになることを心から願っています。また、皆さんの学生生活がより良いものになるように微力ながらサポートできれば幸いです。

個のレベルアップを目指そう！

村澤 康友

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

甲南学園を創立した平生鉢三郎は、旧制甲南高校の校長を務めていた頃、折に触れ「健全な常識を持った世界に通用する紳士たれ」と訓示し、「世界に通用する紳士・淑女たれ」は甲南学園の建学の精神を表す言葉となりました（LGBTに配慮するなら「世界に通用する人物たれ」と言うべきかもしれません）。

それでは世界に通用する人物になるためにはどうしたらよいのでしょうか？

2014年のFIFAワールドカップの頃、「日本のサッカーが世界に通用するためにはどうしたらよいか？」との質問に対し、当時の日本代表の選手たちは口を揃えて「個のレベルアップです」と答え、多くの選手が海外のチームに移籍しました。同じように、世界に通用する人物になるためには個のレベルアップが必須だと思います（もちろん海外生活を経験して世界を知ることもお勧めです）。

甲南学園の建学の精神は「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」というものですが、「個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」は「個のレベルアップ」と解釈できます。また甲南大学の「彩り教育」（＝自分の目的に応じて選択できる、甲南大学ならではの彩り豊かな教育プログラム）は、どのような方向であれ、皆さんの個のレベルアップに役立つはずで、例えばデータ分析のスキルアップを目指すなら、私もお役に立てると思います。

皆さんが甲南大学で個のレベルアップを目指し、世界に通用する人物に成長されることを期待しています。

経済学部生へ

森 剛志

人間万事塞翁（さいおう）が馬

この言葉は、悪いことがあれば良いこともあることを意味したものです。「ある男の飼っていた馬が逃げてしまいます。みんなが同情しましたが、その後、逃げた馬は立派な馬を連れて帰ってきた。」という故事から来ています。若い時はほんの少しの悪いことでも「自分は世界で一番不幸だ」と思って悩んだりすることもあるでしょう。でも、それは素晴らしいことの前兆かもしれません。

ある大学生の話です。その大学生は、現役時代に入学したかった大学に不合格だったので、浪人してもう一度受験しました。今度こそは合格するだろうと、その大学の近くに下宿先も決めていました。でも、合格発表の日、自分の受験番号は合格者リストの中にはありませんでした。

第2志望の大学には合格していたので、泣く泣く4年間第2志望だった大学に通うことにしました。下宿先はすでに決めていたので、1時間もかけて通いました。

実は、人の幸せはいろいろなところに転がっているものです。泣く泣く通うはずでしたが、その大学で自分の親友をつくり、尊敬していた大学教授とは今でも親交があるくらい充実した学生時代を送りました。

就職の時、やはり自分がもともと第一志望だった大学の学生たちに会い、その学閥の強さに圧倒されて、地元に戻って就職することにします。

もともと学問が好きだったので、就職先の近くに京都大学があり、その大学の大学院に入学することにしました。これが私の青春期です。

いまから、あなたの物語が始まります。決して平たんでないかもしれませんが、すべてはあなたがつくる自分の物語です。数十年たった時、誰かに聞かせてあげてほしいです。あなたの物語を。別に、何も特別なものでなくてもいいのです。あなただけの物語ですから。今からが始まりです。

大学での「答えがない」学びとは何か？

森本 裕

みなさん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活にワクワクしたり、逆に不安になったりしている人も多いことと思います。

さて、高校までの勉強と、大学の学問はどう違うのでしょうか？「大学での学びには答えがない」と聞いたことがある人もいるかもしれません。「答えがない」とはどういうことなのか？高校までは、教科書の内容が「正解」でした。それは、専門家が十分に検討して、間違いのない内容が教科書には書かれているからです。逆に、大学では今現在課題となっていることを学びます。課題への解決策はだれにも分からないので、「答えがない」のです。

- ・日本経済がデフレから脱却するためにどうすればいいか？
- ・どうすれば地方を活性化することができるか？
- ・子供の数を増やして、少子化をとめるためにはどうするべきか？

どれも日本の将来を左右する大きな課題ですが、これらに対する処方箋は誰も知らないのです。だから、日本の将来を背負っていくみなさんが、どうすればいいのかを一生懸命考えなければなりません。そのための知識を身に付け、訓練するのが大学での学びです。授業で専門知識を学び、ゼミで先生や仲間と議論して、課題解決力を伸ばしてください。

また、大学の中だけではなく社会や世界を幅広く知ることも大切です。旅行をするもよし、留学するもよし、ボランティアもよし、色々な経験をしてください。必ず将来、役に立つはずです。

もしみなさんが、専門知識と幅広い経験を兼ね備えれば、どんな場所でも生きていけます。大学生活で大きく成長して、日本を、世界を変える人材になってくれることを期待しています。

経済学部の先生方に質問！



足立 泰美先生	28	寺尾 建先生	50
石川 路子先生	30	中川 真太郎先生	52
石田 功先生	32	林 健太先生	54
永廣 顕先生	34	林 亮輔先生	56
岡田 元浩先生	36	平井 健介先生	58
荻巣 嘉高先生	38	宮川 敏治先生	60
奥田 敬先生	40	宮本 舞先生	62
小佐野 広先生	42	村澤 康友先生	64
鎰谷 宏一先生	44	森 剛志先生	66
高 龍秀先生	46	森本 裕先生	68
小山 直樹先生	48		





足立 泰美 (あだち よしみ)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

修士「国際公共政策」取得

大阪大学大学院医学系研究科

博士「医学」取得

大阪大学大学院国際公共政策研究科

博士「国際公共政策」取得

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政学です。なかでも、地方財政および社会保障財政が専門です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

財政の視点から、安定した財源の確保と適切な給付をテーマに、行政・家計・企業の個票データを用いて、実証的に検証しています。具体的には財源については、税・社会保障負担から近年は公債のあり方について幅広く検証しています。給付は、以前は社会保障に特化していましたが、働き方が多様化する変化を踏まえ雇用支援政策と企業・公的年金、さらには資産運用の関係を分析しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

臨床の現場ですね。現場は課題の山積です。どうしたらよくなるのか。一人一人は頑張っているのに、なかなか問題が解決せず疲弊していく。社会をよりよくするために、臨床経験と現場でのヒアリングを通して、データに基づいて明らかにした内容を、教育および行政の現場に生かすことが専門性および研究の意義ととらえています。言い換えるならば、研究・教育・

社会貢献によって生み出される相乗効果が、将来をよりよく変えていくことを期待して頑張っています。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

反省はしますが、後悔はないです。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？

楽しい講義には無駄話がつきものです。酒井康弘著作の「はじめての経済学」は、良い意味での無駄話が満載の本です。それでいて経済学の基本的な概念もおさえられている、バランスのとれたおすすめの本です。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

挑戦ですね。自分にキャップをはめることなく、色々なことに果敢に取り組み、その先には何を成し遂げられるのかを見極めつつ、コツコツ努力して形にしていくことをお勧めします。

7. 先生のご趣味は何ですか？

研究ですね。

8. 新入生に一言お願いします。

トコトン遊んで、思いっきり勉強してください。そこから失敗と成功を繰り返しながら、自分の限界を感じつつ、自身の得手と不得手を、身をもって知ることができます。この「知る」ことの積み重ね、それが自分についての知識になります。ゆくゆくは将来への道が見えてくるきっかけになります。



石川 路子 (いしかわ のりこ)

神戸大学工学部卒業

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期
課程修了

大阪大学大学院国際公共政策研究科博士
後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は「地域経済学」です。都市や地域の抱える課題がすべて研究対象になるので非常に幅広い分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現在の私のテーマは生活の質 (Quality of Life) の地域格差の分析です。人々の生活の質が地域によってどのように異なるのか、さらにその差がどのような要因によって生まれているのかを明らかにすることで、よりよい地域をつくるための方策を検討しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

興味を持ち始めたのは就職後です。私は大学では工学部で建築を専攻していたので、大学では本格的に経済学を学んでいません。大学を卒業し、就職してから都市計画コンサルタントとしてまちづくりに関わるなかで、経済学の重要性を痛感しました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

大学時代にはサークルに入ったりといろいろな挑戦をしたので、後悔していることは基本的にはないです！私が入学した工学部建築学科

での学びも大変でしたが、友人にも恵まれとても充実していました。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

学生さんには、ぜひ小説（ラノベよりももう少し重たいものを！）を読んで欲しいと思っています。最近では映画化や漫画化している小説も多数ありますが、原作を読むことで想像力が働き、自身の考え方や知識を豊かにしてくれると思います。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

個人的には、知識を「詰め込む」ことよりも「活用する」方法を知ることの方が、社会人になって役に立つのではないかと思います。知識は活用してこそ価値を生み出します。インプットも必要ですが、ぜひアウトプットすることに挑戦してみてくださいと思います。

7. 先生のご趣味は何ですか？

趣味はスキューバダイビングです。コロナ禍以前は国内外を含めて年に何度も行っていましたが…コロナ禍は明けましたが最近は忙しいこともありなかなか行けていなくて…少しストレスが溜まっています（笑）

8. 新入生に一言お願いします。

皆さんはさまざまな夢や希望を持って大学に進学されてきたと思います。皆さんが持つ「個性」は唯一無二なもの。それを伸ばすことができるのも大学です。大学生の時にはさまざまなことにチャレンジして、ご自身の個性（強み）に改めて気づき、夢を実現できるよう頑張ってください！皆さんが充実した楽しい4年間を過ごされることを祈念しています。



石田 功 (いしだ いさお)

甲南大学経営学部卒業

ワシントン大学 (シアトル) M.B.A.

カリフォルニア大学サンディエゴ校

Ph.D. (経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

計量ファイナンスと金融市場の実証分析です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

株価や為替レートが明日上昇するのか下落するのかを予測することは難しいですが、市場価格変動の激しさ（これをボラティリティと呼びます）は過去データ分析からかなりの精度で予測できます。金融リスク管理において重要なこのボラティリティ計測・予測の精度向上が主な研究テーマです。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

証券会社でクオンツ（計量分析に基づく資産運用）の仕事に就いたこと。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

理系学部に進学しなかったことです。それと、文系にするなら経済学部を選んでおけばよかったと少しだけ後悔。経済学と経営学の違いを十分に認識せず後者を選びました。専攻の経営学にはあまり興味が持てなかったのですが、経済学は好きで学部生時代に独学でかなり勉強しました。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

これは多くの方が大学生にすすめている本ですが、まず、ユヴァル・ノア・ハラリ著『サピエンス全史』、『ホモ・デウス』をおすすめします。加えて、アンドリュー・ロー著『Adaptive Markets 適応市場仮説：危機の時代の金融常識』（金融分野に関心がある人へ）、デイヴィッド・チャーマーズ著『リアリティ+：バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦』をおすすめします。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

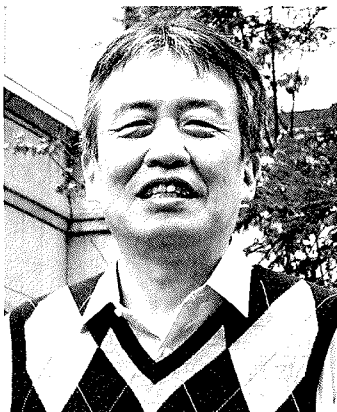
本冊子のエッセイでも述べましたが、皆さんはまさに AI 革命という人類史の転換点に立っている可能性があります（10～20 年かけて徐々に起る変化ではなく数年程度で起るより急激な変化の前夜）。少なくとも有望な職種、また、それぞれの職種における仕事のやり方は皆さんが就職活動をする頃には AI に大きな影響を受けて変化しているでしょう。なので、現時点で、これを学んでおけば将来有利という具体的アドバイスは私には難しいですが、経済学で学ぶ論理思考は間違いなく役立つと思います。

7. 先生のご趣味は何ですか？

音楽、映画鑑賞。

8. 新入生に一言お願いします。

教員や先輩のアドバイスを聞くことも重要ですが、鵜呑みにせず自分の頭で考え、自分の直感も信じ、社会の動向に敏感になりながら、4 年間、自分が本当にやりたいことを追求して下さい。



永廣 顕（えひろ あきら）

東京大学大学院経済学研究科博士課程

1. 先生の専門分野は何ですか？

財政金融論、財政金融史が専門分野です。特に、財政と金融の境界領域といえる公債管理や財政投融资を中心に歴史と現状について研究しています。また、社会保障（年金・医療保険など）についても研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

現代日本の財政・金融政策の政策形成過程を解明することを研究テーマにしています。大蔵省（現財務省）や日本銀行（中央銀行）の政策意図について考察しながら、現代日本の財政・金融政策の特質は1910年代後半から戦時期を経て戦後から1960年代にかけて形成されたのではないかという問題意識を持ち、研究を続けています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

そもそものきっかけは、ゼミの先生からのオススメということになりますが、経済学の中でも、財政学・金融論の分野は、経済学だけでなく、政治学、行政学、経営学、会計学、社会学との隣接分野であり、社会全体、世の中全体を幅広く理解するには有効であると思い、また、意外と「正確に」解明されていない歴史的事実が多く、地味ではありますが歴史分析も必要であると感じたことがきっかけです。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

大学時代はとても楽しかったので、やって後悔したことはありません。やらずに後悔したことは、体系的な勉強（専門問わず）と長期の旅行（特に海外）です。もう少ししっかりとしたモノの見方や考え方が身について、人間としての視野が広がったのではないかと考えています。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？

教養を深めるための本ではありませんが、池上彰『わかりやすく<伝える>技術』（講談社現代新書、2009年）をおすすめします。相手に物事をわかりやすく説明する＝伝えるコツが書かれていますので、プレゼンテーションやコミュニケーションの力がつくと思います。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

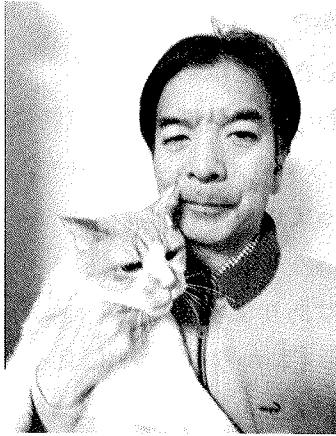
学ぶものではありませんが、わからないことがあれば、すぐに人に尋ねる、あるいは、すぐに自分で調べる習慣を身につけておくことは、今後の生活に役に立つのではないのでしょうか。「わからないことを恥じることはない。わかればそれでいいのだから。」ということです。

7. 先生のご趣味は何ですか？

趣味といえるようなものはありません。好きでやっていることを挙げれば、年に一度はマラソン大会（フルではなく最長 10 キロまで）に出たり、車を運転して買い物に出かけたり、車や電車でレトロな建物や喫茶店を訪れたり、音楽（J-POP や歌謡曲）を聴いたり、、、といったところでしょうか。

8. 新入生に一言お願いします。

「総合大学」である「甲南大学」で提供されているものを 4 年間継続して使いこなしてください！勉強に限らず、大学の中で自分にとっての興味や関心を見つけて、4 年間それに精一杯打ち込みましょう！



岡田元浩 (おかだもとひろ)

同志社大学院経済学研究科博士後期課程
中退

1. 先生の専門分野は何ですか？
経済学の歴史。
2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？
19世紀後期から20世紀前期に至る労働学説の批判的研究。
3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？
文学部で学んだ私がそれまでの自分に行き詰まった時に出会った分野が、経済学の歴史です。今ではこれに出会えて本当によかったと思っています。
4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？
社会活動、海外旅行、恋愛など、もっとアクティブに活動しておけばよかった！？
5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？
夏目漱石「私の個人主義」(三好行雄 編 『漱石文明論』 岩波文庫、1986年所収。) 大学生のみなさんにぜひ読んでほしい、しかしその本意は後年にはじめて分かる、真の意味での人生の指南書です。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

学んで役立たないものはない、というのが私の信条です。

7. 先生のご趣味は何ですか？

以前は登山や写真撮影など種々ありましたが、時間に余裕のない現在の一番の趣味は音楽を聴くことです。

8. 新入生に一言お願いします。

「明日死ぬがごとく生き、永遠に生きるがごとく学べ」(Mohandās Karamchand Gāndhī)



荻巢 嘉高(おぎす よしたか)

南山大学経済学部 卒業

神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程 修了

神戸大学大学院経済学研究科博士課程後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

マクロ経済学、労働経済学およびネットワーク科学を専門にしています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

研究テーマは人々の交友関係や、企業や銀行などの取引関係などの“つながり”が経済にもたらす影響を研究しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

もともと、経済格差について強い関心を持っていました。格差をもたらすメカニズムを明らかにするために有効なツールがマクロ経済学、労働経済学でした。ネットワーク科学を学ぶきっかけは、大学院時代に会った先生の影響です。ネットワーク科学の応用範囲の広さに魅力を感じました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

英語をもっとちゃんとやっていたらなあと思っています。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

社会人になっても重要な技能として、文章の作成能力があります。次の二つはおススメです。(もちろんレポート、論文にも！)

木下是雄 (1981) 「理科系の作文技術」中央公論新社

結城浩 (2013) 「数学文章作法 基礎編」筑摩書房

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

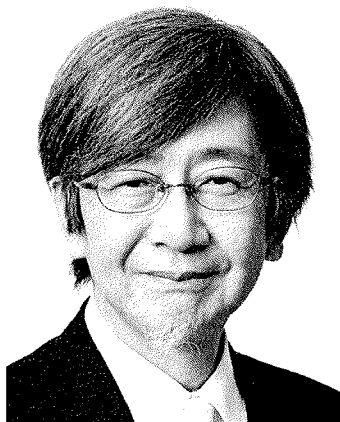
一般的な技能として、レポート、論文の作成技術が挙げられます。加えて、パワーポイントなどを用いたプレゼンの技能は役に立つでしょう。さらに専門的な技能として、経済学で用いる考え方はかなり役に立つと思います。経済学を修める過程で論理的な思考を身につけることができます。

7. 先生のご趣味は何ですか？

温泉地への旅行が好きです。ゲームなども、ハマるものはかなりハマります(古くはパワプロ、最近はポケモン)。昔はサッカーの審判をしていましたので、サッカーのルールにはかなり詳しいと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

大学生活では、何かチャレンジしたいことがあればチャレンジし、体力的・精神的に無理をしないようにし、適切に周りに頼ることを心がけましょう。



奥田 敬 (おくだ たかし)

1958年生

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程
単位取得退学

一橋大学社会科学古典資料センター助手

1. 先生の専門分野は何ですか？

一般的な分類では、「経済学史 History of Political Economy)」、
担当科目となれば、「社会経済思想 Socio-Economic Thought」、
本来の面目としては、「ナポリ啓蒙 Illuminismo napoletano)。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

18世紀南イタリアにおける〈経済学〉の「初心」と「挽歌」
もう少し具体的にいえば、アダム・スミスから始まる(とされている)
のとは違う〈経済学〉の可能性の探求。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

《一八世紀の最後の四半世紀にいたるまでは、経済学はイタリア人の
科学であった。》というシュンペーター『経済分析の歴史』の一節がず
っと気に懸かっていたのですが、卒論の対象を絞り込もうとしていた
大学3年(1980年)の7月に偶然、洋書店の書棚で Venturi, Franco,
Italy and the Enlightenment. Studies in a Cosmopolitan Century,
New York U.P., 1972に出会いました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

ヨーロッパ系の言語だけで手一杯で、アジア圏の外国語を一つも習得できなかったのが悔やまれます。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

東洋が気になる人には『論語』を、西洋が気になる人には『聖書』をまずお勧めします。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

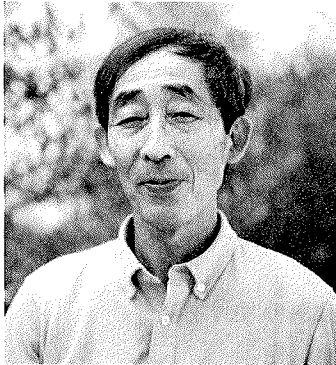
スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『一般理論』などの経済学の古典に親しんで、「考えるヒント」として役立てられるようになると良いのですが……。

7. 先生のご趣味は何ですか？

特にこれといった趣味はありませんが、「ゴジラ」「木枯し紋次郎」「中島みゆき」の熱心なファンとは言えるかもしれません。

8. 新入生に一言お願いします。

《Es irrt der Mensch, solange' er strebt.》 (Goethe, *Faust*)
(人間は、努力する限り、迷うものだ。)



小佐野 広 (おさの ひろし)

京都大学 経済学部 卒業

大阪大学 経済学研究科 博士課程 単
位取得満期退学

1. 先生の専門分野は何ですか？

私の専門分野は、情報の経済学、コーポレート・ファイナンス、コーポレート・ガバナンスです。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

私は現在、ESG とファンド、スタートアップ企業のファイナンス、ファンド・マネージャーへのインセンティブについて研究しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済現象の背後には常に情報の問題があるので、この分野を学ぼうと思いました。。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

もう少し、旅行をしておいてもよかったのではないかと思います。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

とりたててありませんが、歴史関係の本は、読んでも損はないと思います。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

Chat GPT とかが進歩してきているので、何をやれば役にたつかは今後大きく変わっていくものと考えられます。とはいえ、10年以内であれば、コンピューターの取り扱いや語学などはやはりやっておいた方がいいでしょう。

7. 先生のご趣味は何ですか？

昔はテニスなどをしていたのですが、年齢が上がるとともにスポーツジムに行くとか、ウォーキングとかだけになってきました。

8. 新入生に一言お願いします。

しっかり勉強するとともに、大学時代しかできないことをやってください。



鑑谷 宏一(かぎたに こういち)

神戸大学大学院経済学研究科博士課程後
期課程国際経済専攻修了 博士(経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学（国際貿易論）です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

国際貿易に係る諸問題を政治経済学的な視点から理論モデルとデータを用いて分析しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

高校・大学生の時に社会における大きな出来事や変化に直面し、政治や経済の動向に興味を持って、「なぜ、このようなことが起こるのだろう」、「どうしたらいいのだろう」などいろいろと疑問に思ったり、考えたりした経験が、現在の自分の研究につながっているのだと思います。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

「もっとしっかり勉強しておけばよかった・・・」ということです。これ

は現在であっても思うことではありますが・・・。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？

大学生の時に何度か読み返した本の中から2冊を紹介します。

ここではないどこかを見つけてください。

- ・ 沢木耕太郎 『深夜特急 1～6』新潮文庫
- ・ 司馬遼太郎 『竜馬がゆく 1～8』文春文庫

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

これから世の中がどのように変化するのかということは誰にもわかりません。だから、自分がやってみたいと思ったことを大切にすべきだと思います。そうしたことが、後々自分にとって役に立つということがあったりすると思います。

7. 先生のご趣味は何ですか？

アウトドア・アクティビティや料理が好きです（趣味と呼べるレベルではありません）。とはいえ、キャンプなどをすることが最近できていません・・・。

8. 新入生に一言お願いします。

自由に使える時間がたくさんあることが、大学生の特権の一つではないかと思います。しかし、大学の4年間という時間は、長いようで実は短いです。自由な時間を有意義に使ってください。



高龍秀（こう・よんす）

1984年に大阪府立大学を卒業し、1991年
大阪市立大学大学院を修了。

1. 先生の専門分野は何ですか？

国際経済学とアジア経済です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

サムスン電子など韓国の企業を研究しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

かつて貧困などの問題に苦しむ発展途上国の中から、目覚ましい経済成長を遂げる国が現れてきたことに衝撃を受けたから。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

1年の長い夏休みを漫然と過ごしてしまったことを後悔します。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

田中宏『在日外国人』岩波新書、2013年。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

人の話をしっかり聞くコミュニケーション能力は大学での経験が生きているとえます。また、物事を論理的に考える力も大学時代に学んだことが土台になっています。

7. 先生のご趣味は何ですか？

プロ野球観戦です。

8. 新入生に一言お願いします。

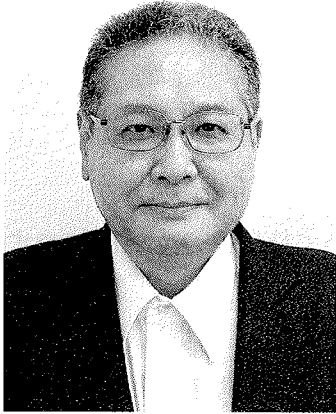
大学時代に大切な友達を作りましょう。

大学時代に打ち込める何かを見つけましょう。

世代を超えて、いろんな人と話をするのはとても大切です。

授業で先生の話をよく聞くこともその意味で重要です。

授業にちゃんと出て先生の話をよく聞きましょう。



小山 直樹（こやま なおき）

名古屋市立大学大学院経済学研究科博士
課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

統計学、経済統計学、および計量経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

授業改善アンケートデータの分析を行っています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学院でご指導いただいた先生の専門が計量経済学（科目名は経済工学）だったので、必然的に、学ぶことになりました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

親から、「将来きっと必要になるから自動車の免許をとるように」と促され、何も考えずに自動車学校に通って無事免許を取りました。しかし、いざ公道で自動車を運転してみて、「自分には向いてない」ことを痛感しました。それ以来、万年ペーパードライバーをやっています。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？

あまりお勧めの方法ではありませんが、教養＝幅広い知識を身につける手っ取り早いのは「百科事典（できれば文字ばかりのもの）」を隅から隅まで読み通すことです。あるいは、「国語辞典」でも良いでしょう。

考え方や物事に対する見方という意味での教養を深めるには、様々な年齢層・職業の人とできるだけ多く世間話をする事です。初めからこうあるべき、と決めつけしないで、「へー、そんな考え方や感じ方もあるんだ」とまずは受け入れて、自分の価値観を耕す肥しにするのが良いでしょう。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

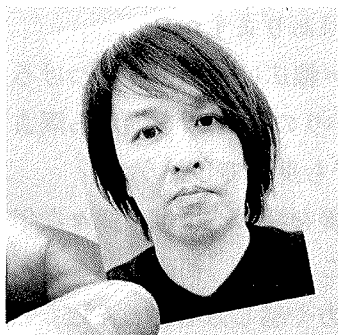
統計入門・中級統計学・計量経済Ⅰ・計量経済Ⅱなど、統計の方法論を学ぶ中で「統計学的世界観」を深めると、きっとハッピーな人生が送れるでしょう。

7. 先生のご趣味は何ですか？

読書です。

8. 新入生に一言お願いします。

マイペースで行こう！



寺尾 建 (てらお たける)

1991年 京都大学経済学部経済学科 卒業

1996年 京都大学大学院経済学研究科 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

——「マクロ経済学」です。「経済全体」を対象とするマクロ経済学は、ミクロ経済学と並んで、経済学全体の「土台」となっている分野です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

——上でも書いたように、専門分野はマクロ経済学なのですが、経済学を学び始めた頃から、経済学の成り立ちに強い関心があり、ここ数年は、「経済学は、なぜ数学的になったのか？」「経済学が数学的であることには、どのような意味や意義があるのか？」という問題について考え続けています。

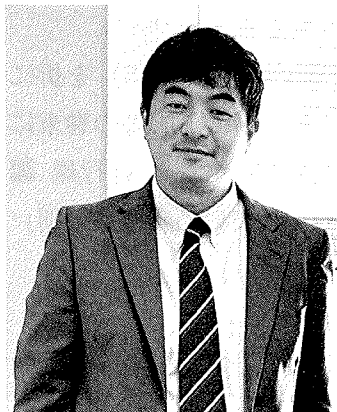
3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

——ミクロ経済学と比べると、マクロ経済学は歴史が浅く、それゆえに理論の完成度が低く、問題を雑に扱っているところが少なくないと思われたので、そのぶん、自分が貢献できる余地が大きいのではないかと考えたことが、きっかけです。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

——大学教員として仕事をするようになってから、「学生時代に好きな人としか一緒に過ごそうとしなかったことは、人間としての幅を狭めることになった」と後悔しました。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？
——村上陽一郎『あらためて教養とは』（新潮文庫、2009年）を折に触れて読み返すことを強くおすすめします。ちなみに、同書の巻末に示されている「教養のためのしてはならない百箇条」は、三好行雄編『漱石文明論集』（岩波文庫、1986年）に収められている「愚見数則」とぜひともあわせて読みたいところです。
6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？
——「『役に立つ／役に立たない』という判断基準は、世のなかでそう思われている程度と比べると、実は、役に立つ機会がほとんどないといってよい」ということを大学生のときに身をもって学んでおくことは、後の人生においてとても役に立つと思います。
7. 先生のご趣味は何ですか？
——音楽を聴くことです。「自分がテーマを設定して作成したプレイリストを、年に二度（2月と9月）、音楽好きの親しい友人に公開して、聴いてもらう」ということを、ここ十年ほど続けています。毎回、計1時間のプレイリストを計6つ、計6時間の音楽を聴くのですが、聴いてくれる友人たちはみな、いつも「あつという間だった」と言ってくれます。ちなみに、「基礎ゼミⅠ」のグループワーク（25分間）のときにBGMとして流しているのも、自作のプレイリストです。
8. 新入生に一言お願いします。
——「この先、自分は永遠に大学生のままであり続けるわけではない」ということ、そしてまた、「この先、自分は永遠に生き続けるわけではない」ということを片時も忘れずに、「自分の行うことは〈世界〉を知ることにつながっているか？」「自分の行うことは〈自分〉を知ることにつながっているか？」「自分の行うことは〈世界〉と〈自分〉をよりよいものにつなげることにつながっているか？」という3つのことを常に自身に問い掛けるようにしてください。



中川 真太郎

(なかがわ しんたろう)

京都大学大学院 経済学研究科
博士後期課程 修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

公共経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

公共財の研究です。公共財というのは、対価を払った人も払わない人も誰でも利用でき（非排除性）、また、ある人が利用しても、他の人もそれを同じように利用できる（非競合性）という2つの性質を持つ財を言います。「そんなものが現実にあるのだろうか」と思うかもしれません。しかし、たとえば、地球の自然環境がもたらす恩恵は、世界中誰もが利用できますし、また、ある人が利用したからと言って他の人が利用できるわけではありません。そのため、地球環境は公共財の1つです。この他にも様々な問題が公共財の性格を持っています。私は、この公共財の理論を用いて、地域の防災や国際社会の安全保障など、現実の様々な問題を分析する研究に取り組んでいます。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

一つのきっかけで専門分野を選んだわけではありません。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

個人情報のためお話しできません。

5. 教養を深めるために先生がおすすめする本はありますか？

これを読めば教養が深まるというような、都合の良い本は存じません。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

経済学を学んでいただくのは当然のこととして、大学生の間に学んだら良いと思う学問は哲学です。哲学は「世界や人間についての知恵・原理を探求する学問（大辞林より）」とされています。哲学を学ぶと、他の人が見つけた既製品の知識を覚えるのではなく、真理を探求するとはどういうことか、事物を深く考えるということがどういうことかを教えられます。西洋哲学は経済学の基礎になっていますので、必ず学んでほしいと思いますし、福沢諭吉や丸山真男も学んでほしいと思います。余裕があれば、東洋哲学やキリスト教神学、イスラーム思想にまで手を広げると良いでしょう。

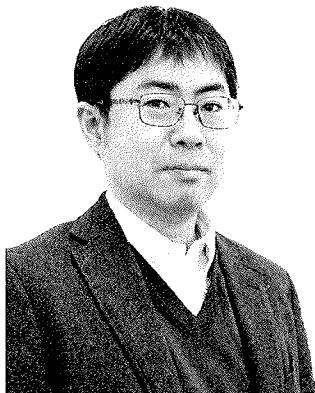
資格や語学は、社会人になってからでも仕事に必要なになれば勉強するものです。しかし、哲学が就職や昇進に必要なことは、まず、ありません。大学生の時に少しでも学んでおかないと全く知らないまま一生を終えることになります。

7. 先生のご趣味は何ですか？

料理とガーデニングです。

8. 新入生に一言お願いします。

入学おめでとうございます。でも、これからが大切です。



(林 健太) (はやし けんた)

本山第三小 → 本山中 → 報徳学園高 →
神戸商科大学 商経学部 管理科学科 →
大阪大学 大学院 国際公共政策研究科

1. 先生の専門分野は何ですか？

情報通信経済学です。インターネット・ビジネスにまつわることを研究対象としています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

昔はインターネットを如何に（早く）普及させるかといった、ハードウェアの整備に関心がありましたが、現在は、インターネット上を流れる様々なコンテンツを、人々がどのように消費しているのかを研究しています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学2年生の時に Windows95 が発売され、インターネットが使えるようになりました。はじめはメールやチャットといったことしかできなかったのですが、「これは世の中を変えるすごい発明かもしれない」と直感で理解して以降、ずっと追いつけています。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

起業できるチャンスを逸したな、ということでしょうか。

インターネットが世の中を変えていくのを指をくわえて見ていることしかできませんでした。友人たちと、ネットビジネスの会社を作る

うかと相談をしていた矢先に阪神・淡路大震災が起こり、それどころではなくなっていました。そういう経験があるので、新入生の皆さんには、ぜひ AI（人工知能）を使いこなして、それをベースにビジネス展開できないか考えていただきたいなと思います。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

ピーター・ディアマンディス、スティーブン・コトラー他（2020）、『2030年：すべてが「加速」する世界に備えよ』、NewsPicks パブリッシング。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

勉強面では、統計学は勉強しておいて損はありません。データで語ることの重要性は、大人になってから身にしみています。

大学の学びとは異なりますが、ファイナンシャルプランナーの資格の勉強もおすすめします。それを仕事にする必要はありませんが、生きていくために有用な「お金」に関する知識が身につきます。

7. 先生のご趣味は何ですか？

ファミコンの登場以降、ゲームは私の生活に欠かせません。年とともにアクションゲームは苦手になってしまいましたが、カードゲームやストラテジーゲームは今でも好きですね。

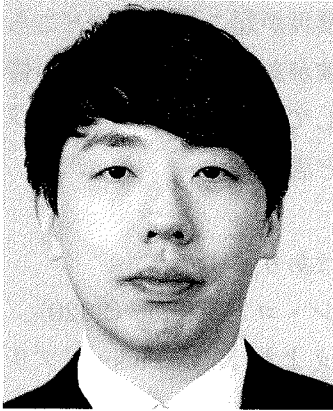
あとは、サッカー（ヴィッセル神戸）の試合を見ることです。

コロナ禍以前は、海外旅行もよく行っていましたよ。

8. 新入生に一言お願いします。

エッセイにも書きましたが、人間らしく、効率の悪い（一見、無駄と思える）ことを楽しんで下さい。

あまりタイムパフォーマンスを重視し過ぎず、色々なことを経験しながら、大学生活を大いにエンジョイしていただければと思います。



林 亮輔（はやし りょうすけ）

関西学院大学経済学部卒業

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程修了

関西学院大学大学院経済学研究科

博士課程後期課程修了

1. 先生の専門分野は何ですか？

専門分野は「公共政策」です。公共政策とは「民間部門では解決することのできない公共的問題を解決するために公共部門が実施する政策」のことですが、公共部門の中でも地方自治体や国に焦点を当て、地方自治体や国が実施する公共政策について研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

グローバル化、少子高齢化、東京一極集中といった社会経済環境の変化の中で、多くの地域が衰退し、中には持続可能性すら危ぶまれている地域も存在します。持続可能な地域経済システムの構築という目的のもと、地域経済力の強化や、地域政策の担い手である地方自治体の行政運営の効率化を柱として研究を進めています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学の講義を受講し興味をもったことがきっかけです。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

自分なりに充実した大学生活を送ることが出来ていたため、「後悔したこと」はあまりありません。私の大学生活で最も大きなウエイトを占めていたのは「ゼミ」でした。ゼミで学んだことは今でも役に立っていますし、ゼミで出来た友人や先輩・後輩とは今でも付き合いがあ

ります。もし、私がゼミを履修せずに大学を卒業していたとするならば、ゼミを履修しなかったことを後悔していたと思います。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

皆さんにお勧めする「これ」という本はありません。言い換えれば、「皆さん自身が気になり手に取った本」がお勧めの本です。本を読むことは、皆さんの可能性を広げます。まずは本屋さんに行き、表紙のデザインやタイトルなど気になった本を手に取ってみることをお勧めします。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

「考える力」を高めるトレーニングをしておいた方が良いと思います。社会で活躍する方々に話を伺うと、皆口を揃えて考える力を鍛えることの重要性を指摘されます。考える力はトレーニングをしなければ高まりません。したがって、自分自身の頭でまずは考える。そのことを大学生生活で癖づけておけば、自ずと考える力は高まります。

7. 先生のご趣味は何ですか？

趣味は「園芸（主に熱帯植物の栽培）」です。小さい頃から動物や鳥や魚や植物といった生き物が大好きで、実際に育ててみたり、図鑑を読んだり、水族館や動物園に行ったりしていました。いまは2匹の猫（にゃんちゃん、しろ）とたくさんの植物に囲まれて生活しています。生き物との生活は苦勞が絶えませんが、同時に「苦勞の何倍もの幸せ」が感じられるところが、「好き」な理由なのだと思います。

8. 新入生に一言お願いします。

大学では皆さん自身に時間の使い方が委ねられています。したがって、時間をどのように活用するかで今後の人生が大きく変化します。そのことを常に心に留め、有意義な学生生活を送ってください。



平井 健介 (ひらいけんすけ)

慶應義塾大学大学院経済学研究科
博士 (経済学)

1. 先生の専門分野は何ですか？

日本植民地経済史、近代アジア経済史

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

いくつかありますが、結構楽しんで進めている研究は日本統治期の台湾における技術官僚のキャリアパスですね。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

平井健介『砂糖の帝国：日本植民地とアジア市場』（東京大学出版会、2017年）の「あとがき」に書いています。図書館に所蔵されているので読んでみてください。

研究者は処女作の「あとがき」に自分と研究の馴れ初めを書く傾向にあります。興味のある専門分野を見つけたら、その分野の研究者の書籍の「あとがき」を見ることをお勧めします。十人十色で面白いですよ。新しい本を読むとき、最初に「あとがき」を読むというのは「研究者あるある」だと思います。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

大学生時代のことをあまり覚えていないので、大学生時代に後悔したことはもっと覚えていません。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

「教養を深める」という作業をしたことがないので、何をすすめてよいかのわかりません。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

他人が言った「役に立つこと」ではなく、自分が見つけた「やりたいこと」を学んでください。

これまでのあなたは、受験のために「すべきこと」や「役に立つこと」を求められてきたと思います。会社に入れば「利益につながること」を求められるでしょう。自分の人生はいったい誰のためにあるのか分からないですね。あなたがあなたでなくても、他の誰かであってもよいかもしれませぬ。「やりたいこと」をすることは、「役に立つこと」をすることによって知らず知らずのうちに他人に奪われてしまったあなたの人生を、あなたの手元に取り戻す作業なのです。

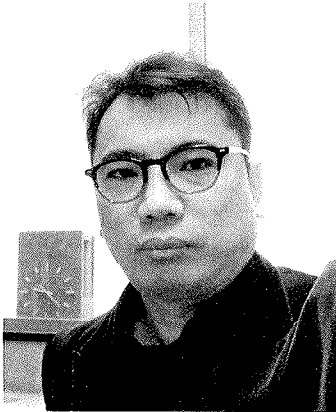
なぜ、社会の中で「大学」があるのかについては様々な議論があるでしょうが、これだけは言えます。大学は「すべきこと」「役に立つこと」「利益につながること」を押し付けてくる世間から最も隔離されている場所、自分が「やりたいこと」は何なのかを最も考えられる場所です。何があなたの「やりたいこと」なのでしょう。大いに悩んでください。安心してください。24時間365日悩んでも、あなたは「大学生」として身分保障されています（ただし、学費を払っている限り）。

7. 先生のご趣味は何ですか？

趣味はありません。ご趣味はもっとありません。

8. 新入生に一言お願いします。

もう二言以上は言っていますので勘弁してください。



宮川 敏治(みやかわ としじ)

関西学院大学経済学部卒(1993年卒)

職歴：静岡大学、神戸大学、大阪経済大学を経て、2020年より甲南大学

1. 先生の専門分野は何ですか？

ゲーム理論です。特に、協力で発生した利益の分け方や協力関係の結び方の戦略的な側面を考察する交渉ゲーム理論を研究しています。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

- (1) 非協力交渉ゲーム理論による価格・競争・情報戦略の研究
- (2) 戦略的提携形成の理論(Noncooperative coalitional bargaining game)
- (3) 学校選択マッチングのメカニズム・デザイン(TTCとDAの統合)
- (4) 悲観的プレイヤーがもたらす交渉の遅れの理論の構築

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

大学院の頃は一般均衡モデルを用いた課税の研究をしていましたが、神戸大で教えている頃に D. Gale, Strategic Foundations of General Equilibrium や A. Rubinstein and M. Osborne, Bargaining and Market で売り手や買い手の戦略的な行動を取り入れた市場経済のモデルを知り、交渉ゲーム理論を本格的に研究するようになりました。神戸大の入谷純先生の下で数学をずっと勉強していたことと当時京都大にいた岡田章先生と出会ったことが専門変更のきっかけになりました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

もっと早い時期に外国に行って英語で研究する術を身につけていれば、論文の執筆や海外の研究者とのコミュニケーションにこんなに苦労しなくて済んだのでは？とは思っています。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

次の4冊を挙げておきます。

- (1) アダム・スミス (著) 村上 (訳) 『道徳感情論』日経 BP クラシックス
- (2) ケネス・アロー (著) 長名 (訳) 『社会的選択と個人的評価』勁草書房
- (3) 吉田洋一・赤根也 『数学序説』ちくま学芸文庫
- (4) デカルト (著) 井上、森、野田 (訳) 『省察 情念論』中公クラシックス

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

ゲーム理論は、人々が互いに影響を及ぼしあう社会において、相手がどのような行動をするかを予想し、自分はどのように行動すべきかについてヒントを与えてくれる学問です。ゲーム理論の戦略的思考だけでなく、データ分析する統計的手法、および、自分の考えを伝えるためのプレゼンテーションの技術の修得することは社会人になっても役立つと考えています。

7. 先生のご趣味は何ですか？

食べ歩き (世界中のレストランを調べて訪問しています)、音楽鑑賞 (クラシック音楽全般、Led Zeppelin, 最近ではYOASOBI、をよく聞いています)、料理 (毎日のように作るので趣味というよりは日常です)

8. 新入生に一言お願いします。

大学生の間に何でも良いので一生懸命になれるものを見つけてみてください。加えて、学ぶことを楽しんでもらえると大学生活はもっと良くなると思います。



宮本 舞 (みやもと まい)

甲南大学経済学部 卒業

神戸大学大学院経済学研究科

博士課程前期課程 修了

博士課程後期課程 修了(博士(経済学))

1. 先生の専門分野は何ですか？

環境経済学。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

環境関連技術の開発・普及に関する特許データを用いた実証分析。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

小学生の時に企業の環境問題への取り組みについて調べ学習をおこない、そこから環境問題に興味を持ちました。経済活動を通して環境問題の原因や解決策を考える点に惹かれ、理系的なアプローチではなく社会科学領域の環境経済学について学びたいと考えました。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

長期留学に行かなかったこと。1ヶ月程度の短期でアメリカに行きましたが、帰ってきたときにもっと長く行けば良かったと後悔しました。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

伊神満 (2018) 「「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明」日経 BP 社

経済学分野の研究論文が経済学を知らない人にも理解できるように分かりやすくかつ面白く解説されており、実証分析の簡単な解説もある良書です。経済学とはどういうものか、経済学の研究とはどういうものかが掴める1冊だと思います。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

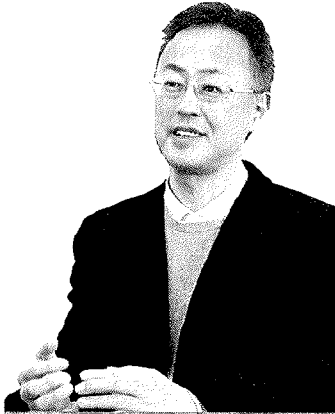
「学び方」を習得しておくことが大切だと思います。目まぐるしく変化する現代や大学卒業後の長い人生を考えると、今はまだ誕生していない知識や分野を社会に出てから新たに学ぶ必要が出てくるでしょう。「自分がまだ知らない分野や知識をどうやって身につければよいか」という「学び方」の手法が分かっていたらそれらにも対応できると思います。よって、大学で何か新しいことを学ぶ時には、学んでいる内容だけでなく、新しいことを学ぼうとしている時にとった行動や手順などの「学び方」の手法を意識してみてください。

7. 先生のご趣味は何ですか？

あまり趣味はありませんが、強いて言うなら 2023 年に子供が生まれたので子供と遊んだり、日々小さな成長を感じるが楽しいです。

8. 新入生に一言お願いします。

社会にはあなたにぴったりのやりたい仕事を用意されていないように、大学でも学びたいものが完全形で用意されているわけではありません。自分の工夫次第でとても面白くも、退屈にもなる4年間だと思います。皆さんの学生生活が充実したものになることを願っています。経済学を学んだから4年間が面白かった！と卒業時に感じてもらえるように、私も微力ながらサポートできればと思います。皆さんと一緒に学べるのを楽しみにしています。



(村澤 康友) (むらさわやすとも)

京都大学経済学部卒、同経済学研究科修士課程修了、(株)三菱総合研究所勤務、ペンシルベニア大学経済学研究科博士課程修了、京都大学経済研究所講師、大阪府立大学経済学部助教授・教授を経て現職

1. 先生の専門分野は何ですか？

経済統計、応用計量経済学

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

インフレ期待の計測、大学中退の意思決定の分析

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

会社員時代に景気予測の仕事をしていて、もっと勉強が必要と思った。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

仕事で必要になるなら、1年次からちゃんと勉強しておくべきだった。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

ジョン・スチュアート・ミル「自由論」

ミルトン・フリードマン「資本主義と自由」

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

経済学と統計学は、本当に役に立つと思います。ぜひ統計検定2級の取得を目指して下さい。

7. 先生のご趣味は何ですか？

将棋観戦

8. 新入生に一言お願いします。

いろんな経験をして下さい。それが人生の財産です。



森 剛志 (もり たけし)

1970 年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士号取得)。日本学術振興会特別研究員を経て、甲南大学経済学部教員。

主な著書「日本のお金持ち研究」(共著)、
「日本のお医者さん研究」(共著)。

1. 先生の専門分野は何ですか？

家計の経済、健康経済、行動経済

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

経済格差。経済格差。積極財政

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

経済格差がひどくなってきた時代に大学院で勉強していたので。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

別になし。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

政治の話が好きだったので、田中角栄元総理の第一秘書だった早坂茂三氏の著書は、ほとんど読みました。これが私のおすすめです。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

人に話したい名著と名所、そして自分の物語をもつこと。

7. 先生のご趣味は何ですか？

小旅行。いつも気が向けば、いろんな観光地に一人で行きます。

8. 新入生に一言お願いします。

読書はいいです。お金以上の価値があるのは、読書です。



森本 裕 (もりもと ゆう)

2011年 京都大学経済学部卒

2013年 同研究科修士課程修了

2016年 同研究科博士課程修了

2016年 甲南大学 着任

1. 先生の専門分野は何ですか？

都市経済学と交通経済学です。

2. 先生の現在の研究テーマは何ですか？

交通経済学のなかの、航空市場の分析が専門です。関西三空港（関西国際空港・伊丹空港・神戸空港）の需要分析をしたり、地方空港の活性化について研究しています。

また、地域経済にも関心があるので、新しく研究をしたいと思っています。

3. 先生が研究されている専門分野を学ぼうと思ったきっかけは何ですか？

もともと旅行が好きだったので、交通や都市には関心がありました。大学院に進学したとき、研究室の先輩が航空市場の研究をしていたので、面倒を見てもらう形で一緒に研究をしたのがきっかけで、航空を専門にしています。

4. 先生が大学生時代に後悔したことは何ですか？

長期の留学をすればよかったです。交換留学で1年間といったように、長期の留学は学生の間にはできないので、それをしなかったことを後悔しています。

5. 教養を深めるために先生がおすすめる本はありますか？

トマ・ピケティの「21世紀の資本」がおすすめです。格差が拡大する原因について、長期的かつ国際的なデータと観点から解き明かした著書です。ページ数がとても多くて読み切るのが大変ですが、経済学部生にはぜひ読んでもらいたい一冊です。

6. 今後の生活の中で、大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか？

経済理論です。それも、とりわけ汎用性が高い「ミクロ経済学」の理論です。ミクロ経済学は、数式を用いて経済を分析する手法なので、これを修得することによって、社会の複雑な動きを把握するのに役立ちます。

7. 先生のご趣味は何ですか？

旅行です。正確には、探索とか冒険といった方がいいかと思います。観光地にはあまり興味がなくて、アジアの途上国の集落とか、先進国であっても観光客が来ないような「地元感」があるところをうろつくのが好きです。

8. 新入生に一言お願いします。

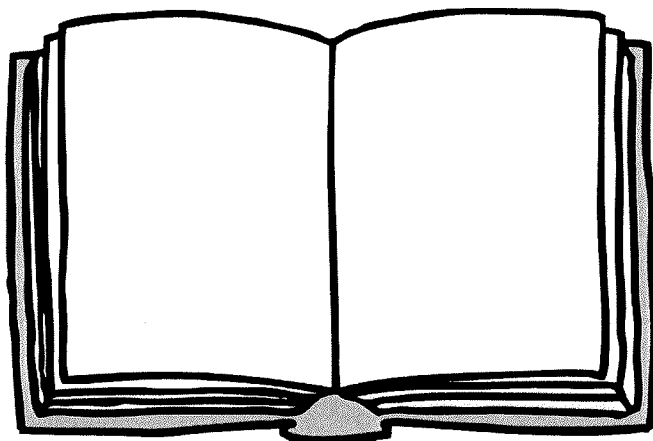
何か一つ、「自分にしかできないこと」「自分しか知らないこと」を作ってください。NO.1があれば、就活も上手くいくでしょうし、社会人になっても重宝されるでしょう。

先輩からの学習アドバイス



大学ってどんな勉強
をするんだろう？

テスト勉強は何を
すればいいの？



先輩から学習アドバイス！

経済学部では必修科目として、「経済入門Ⅰ」「経済入門Ⅱ」「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」の4つを履修します。しかし、大学の授業を初めて受けるみなさんはどのように勉強すればいいのか、テスト対策はどのようにすればいいのかなど不安に思うことがたくさんあるかもしれません。そこで、経済学部の先輩が不安を解決したいと思います！（授業内容などは2022年度の情報を参考にしており、変更の可能性がございます。また、これらのアドバイスはあくまで先輩からの非公式のものであり、講義担当者の意図とは異なる場合がありますことをご理解ください。）

経済入門Ⅰ

【授業概要】

この授業は「入門ミクロ経済学」「入門マクロ経済学」などと同様に、大教室で講義を受ける「講義クラス」と、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」の2部構成で行われます。また、「講義クラス」の全15回が3人の先生方によるリレー形式で行われ、「産業経済」、「国際経済」、「公共経済」の3つの分野を学びます。（参考：2023年度シラバスより）

【普段の勉強方法】

- ・ 講義の中で、試験のヒントを貰えることが多かったののでしっかりと講義に出席して丁寧にノートを取っておくことが重要です。（2022年度 対面で履修）
- ・ まずは講義に休まず出席します。そして授業資料を用いて先生の講義を聞き、大事なところのメモをとりましょう。試験問題は授業資料から出されますので、授業資料を完璧に理解できたら試験で9割の点数は確実だと思います。（2022年度 対面で履修）
- ・ ミクロやマクロよりも記憶力が重要になるので、普段から講義に1限からしっかり行って毎授業覚えることが1番いいと思います。（2022年度 対面で履修）

【試験対策について】

- ・ 半期で3分野を学ぶことになるため、1つ1つの分野に丁寧に取り組むためにも早期から試験勉強を始めることが大切です。My KONANのQ&A機能を活用して先生に質問をしたり、普段からノートテイクをしたりすることでテスト対策が格段に楽になります。（2022年度 対面で履修）

経済入門Ⅱ

【授業概要】

この授業でも、「経済入門Ⅰ」と同様に「講義クラス」と「演習クラス」の2部構成で進められます。世の中の経済活動におけるお金の流れについての基本的なしくみと、経済学における歴史的アプローチの重要性を学びます。全体は、「財政」「金融」「経済の歴史と思想」の3部から構成されます。(2023年度シラバスより)

【普段の勉強方法】

- ・ 3分野合わせるとかなりの量の授業資料があったので、資料に直接書き込んでいく形で勉強していました。苦手な分野などは、資料を見返すなど重点的に復習することが大切だと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 経済入門Ⅱでは、金融・財政・経済の歴史と思想の内容を取り扱います。一見難しいように感じますが、講義に出席し、先生の話をしっかり聞いていれば理解できます。また、高校生の時に学んだ社会科目の内容と同じ部分もあります。それらを活かして内容を理解していくようにしましょう。(2022年度 対面で履修)
- ・ 後期で慣れてきて1限はきついかもしれませんが、講義に毎回出席することが重要だと思います。出席して頭の片隅にでも内容があれば、テスト前に思い出しやすいと思います。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 3分野を学ぶので暗記をしなければならないことが多いので、ノートにまとめ直すなど早めにテスト対策を始めておくことが重要だと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 練習問題やテスト対策問題など先生方が提示してくださっている場合はそれを何も見なくても解けるようにすることがまずは大事です。また、練習問題などが無い場合は記憶力の問題だと思うので、しっかり内容を理解しながら記憶すればよいと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 授業ノートをさらに整理したテスト対策ノートを作っていました。また、授業内で文章で説明する問題が出されたことがあったため、言葉をただ覚えるだけでなくその意味や内容、仕組みをきちんと説明できるように心がけて学習していました。なお、課題の復習や見直もテスト対策にとっても役立ちました。課題は出し終わってもテストが終わるまでは手元に残したほうがよいと思います。(2022年度 対面で履修)

入門ミクロ経済学

【授業概要】

大教室で授業を受ける「講義クラス」1コマ、少人数でグループワーク等を行う「演習クラス」1コマの計2コマで行われます。この授業では、需要と供給について詳しく説明したのち、売買の帰結としての市場均衡について説明します。最後に、市場均衡が社会にとって望ましくなる条件や、望ましくない結果になったときに政府がどのように対処すべきかについて学びます。(2023年度シラバスより)

【普通の勉強方法】

- ・ 演習クラスで配布されたプリントを繰り返し見て復習していました。プリントはその回の授業内容に沿った問題が中心だったので、理解できるまでクラスメイトや先生に質問して疑問点を次の日に持ち越さないように心がけました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので、曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しく理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強すべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 授業中に配られたプリントの問題を繰り返し解いて、何も見なくても解けるようにしました。また、中間テストや中間レポートもしっかり見直してテストに挑みました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 需要曲線と供給曲線を取り扱う問題が多いです。なので曲線の仕組み・シフトを理解して、そこから読み取れることを把握できるようにすることが大切だと思います。私も最初は難しく理解できませんでしたが、授業と予習・復習を重ねるとだんだん理解できるようになっていきました。
- ・ 需要と供給の理解ができていないと、苦しいのでまずはそこを理解した上で勉強するべきだと思います。また、自分でグラフを描けるようになることも重要です。

入門マクロ経済学

【授業概要】

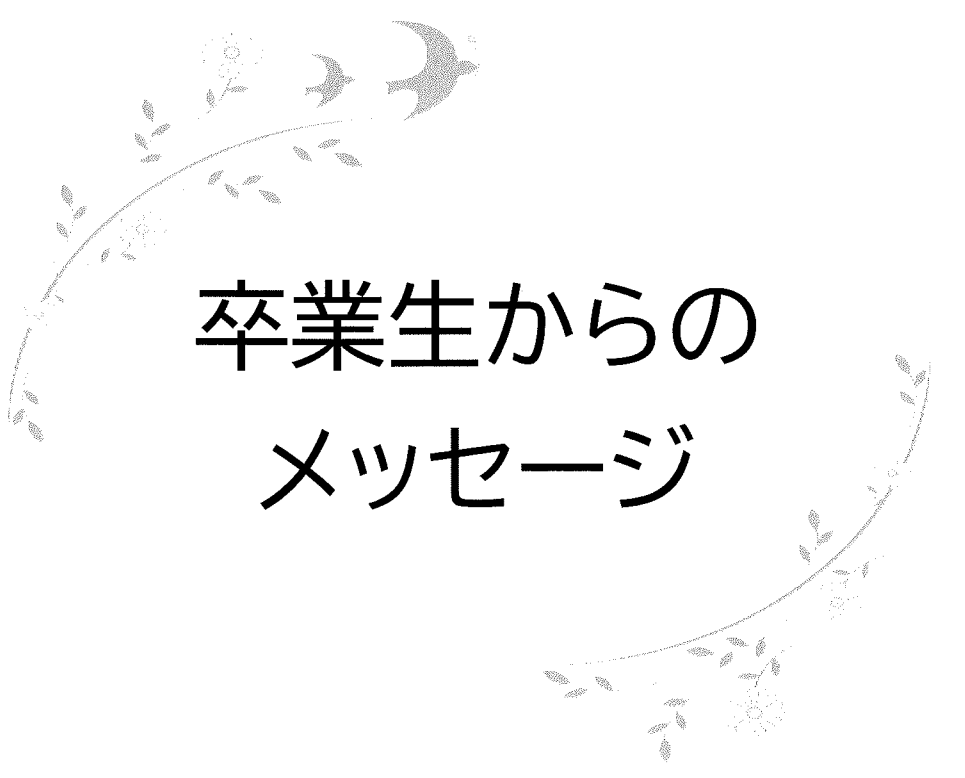
マクロ経済学の基礎を学びます。「マクロ経済学」とは、一国の経済を俯瞰的かつ全体的に捉え、その仕組みを明らかにする経済学の基礎的な分野です。マクロ経済学の主な課題は、一国の経済活動の規模やその変化が、どのような要因によって、いかにして決定されるのかを分析して、私たちの生活に大きな影響を与える景気循環や経済成長などが生じる原因・仕組みを明らかにすることです。この講義では、そのために必要となる基礎的な諸概念とそれらの間の相互関係について学びます。(2023年度シラバスより)

【普段の勉強方法】

- ・ マクロ経済学では多くの公式を用います。公式を覚える時に、ただ記号の羅列で暗記するだけでは実際に問題を解く時に応用できません。なので、記号が表していることは何なのかと公式が成り立つ経緯を理解したうえで問題に望むと解きやすいと思います。(2022年度 対面で履修)
- ・ 後から見返したときにもよく分かるように、講義のノートを丁寧にまとめることを心がけました。また、演習クラスで解く練習問題を何度も解き直しました。(2022年度 対面で履修)
- ・ 計算問題がミクロに比べて多くなるので、計算力が必要になります。問題から必要な数字を汲み取ることと公式を覚えることが勉強する上で基本的には重要だと思います。(2022年度 対面で履修)

【試験対策について】

- ・ 授業中の練習問題や中間テストを最低2回は解き直して、テストに挑みます。講義のノートが丁寧であればあるほどテスト対策の効率がアップします。(2022年度 対面で履修)
- ・ 試験勉強は1人でするときと、友達とするときの両方の時間を設けました。1人でするときは分からないことをピックアップしたり、ノートにまとめたりします。それを友達とするときには共有し、分からないことについて質問したり答えたりします。そしてまた1人でするときに暗記、練習問題を繰り返します。そうすると効率よく勉強できました。(2022年度 対面で履修)



卒業生からの
メッセージ

新入生の皆さんへ

2024 年度卒業生
林亮輔ゼミナール 宇野 綾華

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高校生から大学生になる皆さんは、今、楽しみと同時に緊張や不安も感じていることでしょう。私も大学に入学した当時は同じ気持ちでした。しかし、実際に大学で4年間過ごしてみて、たくさんの新たな出会いがあったり、様々なことに挑戦したりすることができ、自分自身でも成長を感じることができています。これから新たな生活が始まる皆さんもかけがえのない大学生活を過ごしてもらうために、私から2つのことを伝えたいと思います。

まず1つ目は、失敗を恐れないで様々なことに挑戦してみてください。例えば挑戦しやすいものを挙げると、アルバイトを始めること、サークルや部活に入ることがあります。私は大学時代にアルバイトを3つ経験し、高校生の頃から憧れていたダンスサークルに入りました。このように、どんなに小さなことでもいいので1歩踏み出してみてください。実際に私は様々なことに挑戦し、大学生活を充実させることができました。時には失敗することもありましたが、それも良い経験となり自分自身の成長にも繋がりました。

次に2つ目は、交流関係を増やすことです。この入門のしおりを読んでいる皆さんの中には1人で過ごす時間が好きな方もいるかもしれませんが、できるだけ多くの方々と関わってほしいと思います。理由は、多くの方々と関わることで様々な価値観や考え方を吸収することができるからです。そうすることによって自分自身の視野を広げることができます。また、人との繋がりを持っておくことで思いがけない出会いもあります。大切な友人と出会い、楽しい経験ができました。まさに私の大学生活は「一期一会」。たくさんの友人や先輩後輩、先生方に巡り会い、いい刺激をもらいました。

最後になりますが、ここまで読んでくださりありがとうございました。堅苦しいことを書いたかもしれませんが、結局は自分自身が後悔しないように、またこの大学生活を思う存分楽しんでほしいです。大学生は本当に自由な時間が多くあります。その時間を生かすも殺すもあなた次第です。人生最後の夏休み！皆さんの大学生活が良いものになることを願っています。改めまして、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆様へ「Hitch your wagon to a star」

2023 年度卒業生
寺尾ゼミナール 小西 祐太郎

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。新たな環境を前にして、期待に不安にと様々な感情が渦巻いていることと思います。私自身も、入学当初はわからないことも多く不安でいっぱいでした。しかし、今では様々な活動や多くの人との関わりを経て素晴らしい学生生活を送ることが出来たと感じています。それらを踏まえて、皆様にメッセージを送りたいと思います。

さて、これまでの生活と違い、大学は「自由と責任」です。これまでのように、時間割が決まっていて、次に何をすれば良いのか指示を待って、という生活スタイルでは通用しないと思います。一方で自由な時間がたくさんあり、その時間をどのように使うのかはそれぞれに委ねられています。より一層、それぞれに合った楽しい時間が過ごせそうですね。純粋な心を忘れずに、全力で楽しんでください。しかしその分、自分の行動には責任が伴うということを忘れないでください。

私は、学内イベントの企画・運営をしたり、後輩学生の学びをサポートしたりと、様々な経験をさせていただきました。それらを振り返ってみると、甲南大学には色々なことに挑戦できるフィールドがあるということを実感します。ですから、皆さんも様々なフィールドを活用して、時には創り出して、それぞれに合った過ごし方を見つけてください。そして、たくさんの人との出逢いを大切にして、かつこの環境を当たり前だと思わず、卒業を目前にした際に、どうか後悔のない生活を送って欲しいと思います。4年間の学生生活はあっという間に過ぎ去りますので、(時には休憩も必要ですが)油断は禁物です。そんなかけがえのない日々の経験が、いつの日か(それがたとえ僅かなものであっても)自分自身の“力”になっていることだと思います。そしてこの“力”が、人との“縁”が、皆さんが目指す方向へ繋ぐ重要な糧となるでしょう。

学生生活を送る上では多くの困難に直面することもあると思います。困ったことがあれば近く先輩や教職員の方々、友達など誰でも構いませんので、近くの人を頼ってください。きっと道標を示してくれます。クラブやサークル、5号館5階の経済学会コモンルームに足を運んでみるのも良いかもしれません。

これまでこのようなことを書いてきましたが、一番忘れてはならないのが単位の取得です。楽しい生活を送り過ぎて「卒業できない!」と慌てることのないように、タイムマネジメントをしっかりと意識してくださいね。皆さんの真っ白なキャンパスが色とりどりに染まり、素晴らしい学生生活を送られることを祈っています。



経済学会について

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！甲南大学経済学部に入學したみなさんは同時に「甲南大学経済学会」の会員となりました。

経済学会とは？

甲南大学経済学会とは、経済学の研究とその成果の普及のために、経済学部構成員である教員・学生・卒業生が相互に協力し、対等の権利と発言権をもって運営する自治的な組織です。

経済学会の運営にはおもに評議員（教員・学生）が行います。経済学会では経済学部生がよりよい大学生活を過ごすことができるように、さまざまなサポートを行っています。

主な行事紹介

・講演会(5月 10月)

経済学会では前期と後期に1回筒講演会を企画し、実施しています。講演会では外部の方に講演をしていただいています。昨年の後期講演会には株式会社リクナビの藤島 潤様にお越しいただき、「予測不可能な未来に向けたキャリアデザイン」というテーマでお話しいただきました。

・ゼミ紹介(2回生以上対象)

後期から始まるゼミⅠを選択する際に参考にできます。それぞれのゼミの先生方にご自分のゼミを紹介していただきます。対象は、2回生以上ですが、1回生もゼミについて知ることのできる機会です。

・経済学部インナーゼミナール大会(12月)

甲南大学 経済学会会則



甲南大学経済学会会則

昭和 35 年 2 月 24 日	制定承認
昭和 41 年 12 月 14 日	改正承認
昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会改正承認
昭和 49 年 5 月 16 日	経済学会総会改正承認
昭和 52 年 5 月 18 日	経済学会総会改正承認
昭和 58 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 2 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 3 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 8 年 5 月 29 日	経済学会総会改正承認
平成 9 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 13 年 5 月 30 日	経済学会総会改正承認
平成 15 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 16 年 5 月 26 日	経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日	経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 本会は、甲南大学経済学会と称し、事務所を甲南大学経済学部内におく。

第 2 条 本会は、全員加盟を原則として、甲南大学経済学部生・甲南大学院社会科学専攻の大学院生ならびに甲南大学経済学部の専任教員によって組織する。また、学部卒業生・大学院修了者のうち入会を希望する者、その他本会評議員会において入会を認めた者も加入することができる。

第 3 条 会費については以下のとおりに定める。

教 員	年 会 費	5,000 円
学 部 学 生	会 費（在学期間）	20,000 円
大学院学生	会 費（在学期間）	10,000 円

又、卒業生会員の権利および義務については、別に細則を定めるものとする。

なお、いったん納入された会費は、理由のいかんに関わらず返還しない。

第 4 条 本会は、経済学の研究ならびに普及をもって目的とする。

第 5 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. インナーゼミナール大会
2. 講演会
3. 研究会
4. 甲南経済学論集および経済学学生論集の発行
5. 学会ニュースの発行
6. 研究・教育資料の収集・管理
7. 専任教員による研究書の刊行助成
8. その他本会の目的を達成するために必要と認める事項

第 6 条 本会の最高議決機関として総会を置く。本会の予算と決算は総会の承認を得なければならない。総会規程は別に定める。

第 7 条 総会は、本会の事業を運営するために評議員を選出する。評議員会は、経済学部長を含む専任教員 8 名、学生 8 名以上 20 名以下により構成され、任期は 1 年とする。評議員会規程は別に定める。

第 8 条 評議員長は経済学部長が兼任する。評議員長は本会を代表し、総会および評議員会を招集する。

第 9 条 評議員会は互選により次の役員を選出する。

1. 総務委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、評議員間の連絡・調整にあたり、評議員会の事務と記録を統括する。

2. 会計委員（教員 1 名ならびに学生 1 名ないし 2 名）は、本会の事業経費を管理する。
3. 管財委員（教員 1 名ならびに学生 2 名ないし 3 名）は、研究・教育資料の収集を行う。
4. 編集委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、甲南経済学論集、経済学学生論集、学会ニュース等の定期刊行物の編集・発行にあたる。
5. 企画委員（教員 2 名ならびに学生 2 名以上）は、研究会、講演会、インナーゼミナール大会、その他本会の目的を達成するための事業を企画する。

なお、評議員会は必要に応じて会員の中から本会の活動に協力する実行委員を委嘱することができる。

第 10 条 評議員会は、本会の事業活動を円滑に行うための諮問・連絡機関としてゼミ委員会を招集することができる。

第 11 条 本会の事業とそれにとまなう予算の執行を厳正・公平に対処すべく、教員 1 名ならびに学生 1 名の監査委員を置く。監査委員は総会において選出され、任期は 1 年とする。

第 12 条 本会の経費は、会費・事業収入・寄付金および甲南大学からの助成金をもってこれにあてる。

第 13 条 本会則は、総会規程第 6 条に基づいて改正することができる。

総 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日	経済学会集会制定承認
平成 6 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
平成 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日	経済学会総会改正承認

第 1 条 総会は、経済学会会員全員によって構成され、その決議はすべてに優先する。

第 2 条 原則として毎年 5 月に定期総会が開催されなければならない。

第 3 条 評議員長は、次の場合 2 週間以内に臨時総会を招集しなければならない。

1. 評議員会が必要と認めたとき
2. 経済学部教員 3 分の 2 以上の要求があったとき
3. 学生会員 50 名以上の要求があったとき
4. 卒業生会員 50 名以上の要求があったとき

第 4 条 総会は、卒業生会員を除く全会員の 5 分の 1 以上の出席により成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。

第 5 条 総会の決議は、出席会員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

第 6 条 経済学会会則の改正は、出席会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。

評 議 員 会 規 程

昭和 44 年 10 月 16 日 経済学会集会制定承認
昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会改正承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
平成 21 年 5 月 27 日 経済学会総会改正承認
平成 22 年 5 月 19 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 評議員会は、経済学会会則に定められた事業の運営を行い、その事業を達成させるために評議員は評議員会に出席するよう努めなければならない。
- 第 2 条 評議員会は、次の事項について総会の承認を得なければならない。
1. 予算および決算
 2. 活動報告
 3. その他評議員会が必要と認めた事項
- 第 3 条 評議員長は、原則として毎月 1 回定期評議員会を招集しなければならない。
- 第 4 条 評議員長は、次の場合 10 日以内に臨時評議員会を招集しなければならない。
1. 評議員長が必要と認めたとき
 2. 評議員 3 名以上が必要と認めたとき
 3. 学生会員 30 名以上の要求があったとき
 4. 卒業生会員 30 名以上の要求があったとき
- 第 5 条 評議員会は評議員の過半数をもって成立する。ただし、委任状は出席定数に算入することができる。
- 第 6 条 評議員の決議は、出席評議員の過半数の同意を必要とする。ただし、決議にあたっては委任状は算入されない。
- 付 則 4 年次に評議員に就任した学生は卒業をもって退任とする。また、評議員の辞任は、評議員長へ辞任届を提出しなければならない。その書式は別に定める。

卒 業 生 ・ 修 了 者 会 員 細 則

昭和 52 年 5 月 18 日 経済学会総会制定承認
平成 20 年 5 月 28 日 経済学会総会改正承認
令和 4 年 5 月 25 日 経済学会総会改正承認

- 第 1 条 甲南大学経済学部卒業生及び社会科学部研究科経済学専攻の修了者のうち、経済学会への入会希望する者（以下「卒業生会員」とよぶ）は、氏名、卒業年度または修了年度、現住所を経済学会評議員会に申請し、「卒業生会員証」の交付を受けるものとする。申請は学位授与式 2 ヶ月前からできるものとする。
- 第 2 条 経済学会への入会を引き続き希望する者は、毎年 1 月から 3 月末までの間に、登録の更新を行わなければならない。なお、卒業生会員は、現住所の変更をすみやかに評議員会に届け出なければならない。

- 第3条 卒業生会員は、登録またはその更新の際、会費年4,000円を納入しなければならない。ただし、2年以上の登録と会費納入を一括して行うことはできる。入会金納入の義務はない。
- 第4条 卒業生会員は、経済学会すべての事業に参加し、そのサービスを受けることができる。ただし、卒業生会員は、評議員に就任することはできず、また「総会規程」第4条にもとづいて総会での投票権をもたない。
- 第5条 本細則は、総会の決議によって改正することができる。